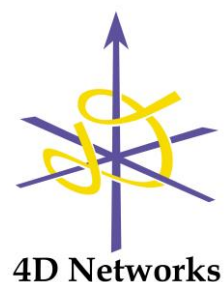


カンタンモバイルプリント



セットアップガイド

Ver.1.1.1



はじめに

このたびは、弊社「カンタンモバイルプリント」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

取扱説明書の構成について

「カンタンモバイルプリント」（以降、本ソフトウェア）の取扱説明書は2部構成となっています。

□ セットアップガイド（本書）

本ソフトウェアのエージェントソフトウェア導入や運用管理を行う上で必要な設定作業などを説明しています。本ソフトウェアの導入を行う方や、運用管理を行う方がお読みください。

□ iOS 用アプリケーションユーザーガイド

本ソフトウェアのiOS用アプリケーションが提供する各機能の操作方法について説明しています。本ソフトウェアを実際に利用する方がお読みください。

キー・ボタンの表記について

本書では、キー・ボタン名称を以下のように表しています。

- デバイスのハードウェアのキー：〈キー名称〉
例：〈ホーム〉
- 画面上のボタン・スイッチ：[ボタン・スイッチの名称]
例：[印刷]
- 画面上の選択ボタン：[選択1 | 選択2]
例：[カラー | 白黒]

用語について

本書で使用する用語を以下のように定義します。

本エージェントソフトウェア

本ソフトウェアのエージェントソフトウェア「カンタンモバイルプリント エージェント」を指します。

サーバー

本エージェントソフトウェアを導入した PC を指します。

対応プリンター

本ソフトウェアの印刷設定機能が制限なしで利用できるプリンターを指します。リコーのRPCS 言語に対応しているレーザープリンター・デジタル複合機で、RPCS Basic ドライバー(バージョン 3.0.2 以降)の対応機種が該当します。

管理ツール

本ソフトウェアのエージェントソフトウェア用の管理ツール「カンタンモバイルプリント管理ツール」を指します。

アプリケーション

iOS デバイス上で動作するアプリケーションを指します。

印刷用アプリケーション

本ソフトウェアのエージェントソフトウェアが印刷実行時に使用する PC 用アプリケーションを指します。

Office 文書

Microsoft Office の文書形式のうち、Word (拡張子 doc, docx)、Excel (拡張子 xls,xlsx)、PowerPoint (拡張子 ppt, pptx)の文書形式の文書を指します。

画像

代表的な画像ファイル形式、JPEG(拡張子 jpeg, jpg)、PNG (拡張子 png)、TIFF (拡張子 tiff, tif)、BMP (拡張子 bmp)、GIF (拡張子 gif)の画像ファイルを指します。

セットアップガイドについて

本書では、本ソフトウェアの動作のための環境構築、Windows 用エージェントソフトウェア（以降、エージェント）のインストール方法と、および管理ツールの操作方法について説明しています。本書を良くお読みになった上で、本ソフトウェアをご利用いただけますようお願いいたします。本書の構成は、以下のようになっています。

1. 動作環境
2. 環境構築
3. エージェントのインストール
4. 管理ツール
5. 仕様
6. 困ったときには
7. 制限事項

商標・著作権について

- ※ 本書に記されているその他のシステム名、商品名、会社名などは、一般に各社の商標、または登録商標です。
- ※ 本ソフトウェアのエージェントでは、第三者の開発したソフトウェアライブラリを利用しています。それらのソフトウェアライブラリの帰属告知とライセンス情報につきましては、配布 zip ファイル内にある LICENSE.txt をご覧ください。
- ※ 本書の内容の一部、またはすべてを無断で転載することは、禁止されています。

目次

はじめに	i
取扱説明書の構成について	i
キー・ボタンの表記について	i
用語について	i
セットアップガイドについて	ii
商標・著作権について	iii
1. 動作環境	1
1.1 ハードウェア	1
1.2 OS	1
1.3 ファイルシステム	1
1.4 プリンター	2
1.5 印刷用アプリケーション	2
2. 環境構築	4
2.1 プリンターの設定	4
2.2 ネットワーク環境の設定	13
2.3 印刷用アプリケーションのインストール	15
3. エージェントソフトウェアのインストール	20
3.1 インストールの準備	20
3.2 インストーラーの実行	20
3.3 印刷専用アカウントの設定	24
3.4 プロダクトキーの登録	25
3.5 ファイアーウォールの設定	26
3.6 .NET Framework 3.5 のインストール	26
4. 管理ツール	29
4.1 ライセンス認証	29
4.2 サービスの管理	38
4.3 印刷アカウントの設定	30
4.4 プリンターの設定	33
4.5 その他の設定	39
5. 仕様	42
5.1 通信	44
5.2 印刷ジョブ	44
5.3 試用版	44
6. 困ったときには	46
7. 制限事項	47

1. 動作環境

1.1 ハードウェア

本ソフトウェアエージェントのハードウェア構成の要件は以下の通りです。

CPU	1.6GHz シングルコア以上のプロセッサ。 2GHz デュアルコア以上を推奨。
メモリー	2GB 以上。
HDD 空き容量	10MB 以上。 100MB 以上を推奨。

※ HDD 空き容量の要件は、本ソフトウェアエージェント自身が使用する容量のみを指します。印刷アプリケーションが使用する領域のために別途容量が必要です。

1.2 OS

本エージェントソフトウェアは以下のバージョンの Windows OS 上で動作します。

バージョン	サービスパック	32bit/64bit
Windows XP	SP3 以降	32bit
Windows Vista	SP2 以降	32bit, 64bit
Windows 7	SP1 以降	32bit, 64bit
Windows 8		32bit, 64bit
Windows Server 2003	SP2 以降	32bit
Windows Server 2003 R2	SP2 以降	32bit
Windows Server 2008	SP2 以降	32bit, 64bit
Windows Server 2008 R2	SP1 以降	64bit

- ※ いずれも日本語版のみサポートします。
- ※ IA64 版 Windows はサポートしません。
- ※ Server Core インストールの Windows Server 2008 / 2008 R2 では動作しません。
- ※ Windows 8 RT では動作しません。

1.3 ファイルシステム

本エージェントソフトウェアのインストール先のドライブは NTFS フォーマットでフォーマットされている必要があります。

※ Windows Vista 以降では C ドライブは必ず NTFS フォーマットなので、デフォルトのインストール先にインストールできます。

- ※ FAT フォーマットのドライブを NTFS フォーマットに変換する方法については、マイクロソフトが公開している以下の情報を参考にしてください。

<http://www.microsoft.com/japan/windowsxp/using/setup/expert/convertfat.msp>

1.4 プリンター

本ソフトウェアの印刷設定機能を使用するには、リコーの RPCS 言語に対応しているレーザープリンター・デジタル複合機と RPCS Basic ドライバーが必要です。

本ソフトウェアがサポートする RPCS Basic ドライバーのバージョンは以下の通りです。

- RPCS Basic ドライバー カラー 3.0.2 以降 (32bit, 64bit)
- RPCS Basic ドライバー モノクロ 3.0.2 以降 (32bit, 64bit)

- ※ RPCS Basic ドライバーは、株式会社リコーの以下のサイトから無償ダウンロードできます。

http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/utility/rpcs_basic/

- ※ プリンターの対応機種については、以下のサイトを参照してください。

http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/utility/rpcs_basic/model.html

- ※ 3.0.1 以前のバージョンおよび RPCS Basic ドライバー以外のプリンタドライバを使用するプリンターでは、印刷設定機能は部数設定のみとなります。

1.5 印刷用アプリケーション

本エージェントソフトウェアで印刷を行うためには、一部のファイル形式の印刷を除き、別途印刷用アプリケーションが必要になります。必要な印刷用アプリケーションは以下のとおりです。

ファイル形式	拡張子	アプリケーション
Word 文書	doc/docx	Microsoft Word 2003/2007/2010/2013
Excel 文書	xls/xlsx	Microsoft Excel 2003/2007/2010/2013
PowerPoint 文書	ppt/pptx	Microsoft PowerPoint 2003/2007/2010/2013
PDF 文書	pdf	SkyPDF Viewer 4.0 または SkyPDF Viewer 2012
テキスト文書	txt	メモ帳またはワードパッド (Windows に含まれる)
JPEG 画像	jpeg/jpg	Windows フォト ビューアー または Windows フォト ギャラリー または Windows 写真と FAX ビューアー (Windows に含まれる)
TIFF 画像	tiff/tif	
ビットマップ画像	bmp	
PNG 画像	png	
GIF 画像	gif	

各アプリケーションのインストールの際の注意点については「2.環境構築」を参照してください。

- ※ Microsoft Office 2010 は 32bit 版のみサポートします。

- ※ SkyPDF Viewer は、株式会社スカイコム以下のサイトから無償ダウンロードできます。

<http://dl.skycom.jp/free.html>

- ※ Windows Server 2008 には標準のインストールでは Windows フォトビューアーがインストールされません。マイクロソフトが公開している以下の情報を参考にして、デスクトップエクスペリエンスをインストールしてください。
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772567\(WS.10\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc772567(WS.10).aspx)
- ※ PowerPoint 2010 での印刷は不安定な場合があります。
- ※ Microsoft Office 2013 を使用する場合はプロダクトキーでライセンス認証を行ってください（Office サブスクリプションに関連付けされている電子メールアドレスでの認証はサポートしておりません）。

2. 環境構築

本エージェントソフトウェアをインストールする PC に必要な環境設定について説明します。

2.1 プリンターの設定

対応プリンターを使用するためにはRPCS Basic ドライバーをインストールする必要があります。
以下でRPCS Basic ドライバーのインストール方法を説明します。

- ※ RPCS ドライバーを使用したプリンターを設定済みの場合でも、別途RPCS Basic ドライバーをインストール・設定する必要があります。
- ※ 本章では「RPCS Basic ドライバー カラー 3.0.2」を例に説明しています。ドライバーのバージョンによって実際のインストール方法が本章の内容と異なる可能性があります。疑問点があった場合は、RPCS Basic ドライバーの添付文書を確認してください。
- ※ スクリーンショットはWindows 7での表示です。Windows XP では名称が異なる部分については本文内で説明します。
- ※ Windows 8 では「2.1.2.1プリンター追加ウィザードの選択」の手順が異なりますので、代わりに「2.1.2.2プリンター追加ウィザードの選択(Windows 8 の場合)」を参照してください。

2.1.1 RPCS Basic ドライバーの入手

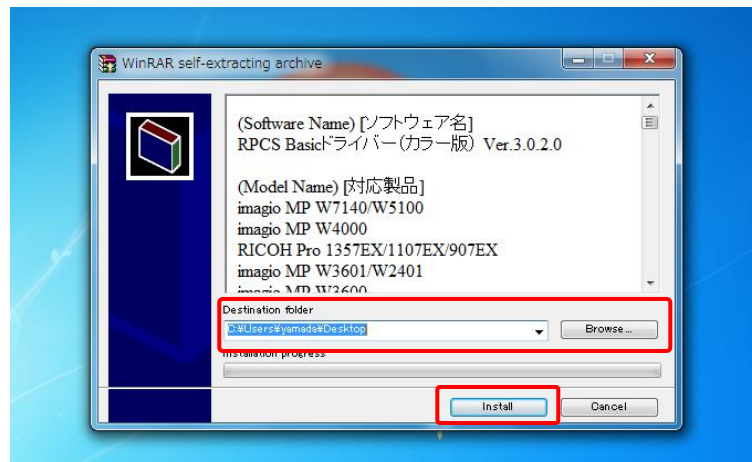
最新版のRPCS Basic ドライバーを以下からダウンロードします。

http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/utility/rpcs_basic/



インストール先 PC の OS によって 32bit 版、64bit 版を、使用するプリンターによってカラー版、モノクロ版を選択してください。

ダウンロードしたファイルを実行すると以下の画面が表示されます。



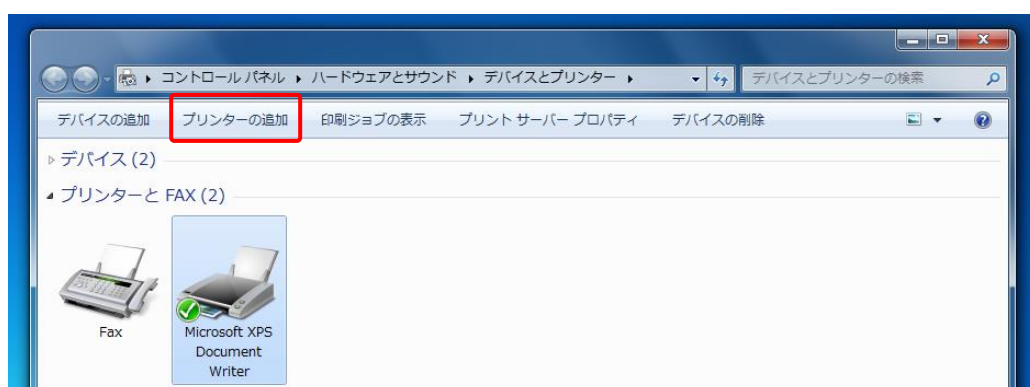
「Distination folder」で展開先のフォルダーを選択して[Install]ボタンを押すとドライバファイルを含むフォルダーが展開先に展開されます。ここで展開したファイルをプリンターの追加の際に使用します。

2.1.2 プリンターの追加

RPCS Basic ドライバーを使用するプリンターを追加します。

以下の手順については管理者ユーザーアカウントでログインして作業してください。

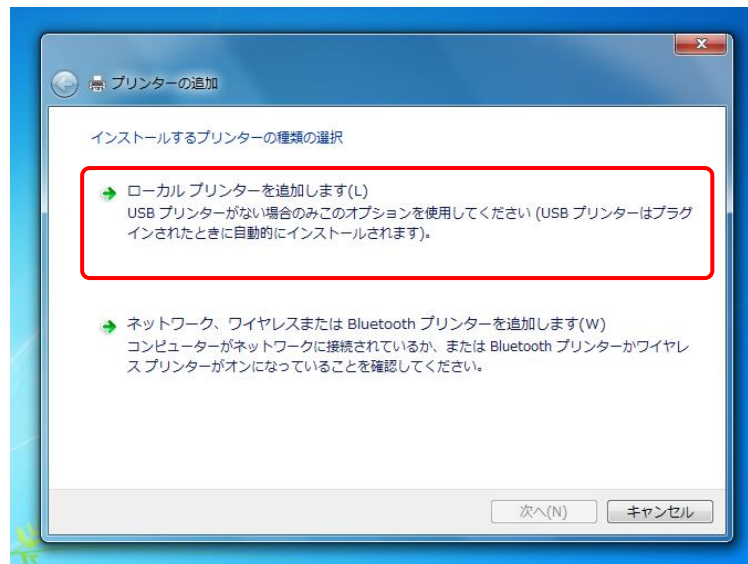
スタートメニューから「デバイスとプリンター」(Windows XP の場合は「プリンタと FAX」)を開きます。



メニューから[プリンターの追加]を選択します。

2.1.2.1 プリンター追加ウィザードの選択(Windows XP/Vista/7 の場合)

つづいて、プリンターの種類を選択します。Windows 8 を使用中の場合は次章の「2.1.2.2 プリンター追加ウィザードの選択(Windows 8 の場合)」を参照してください。

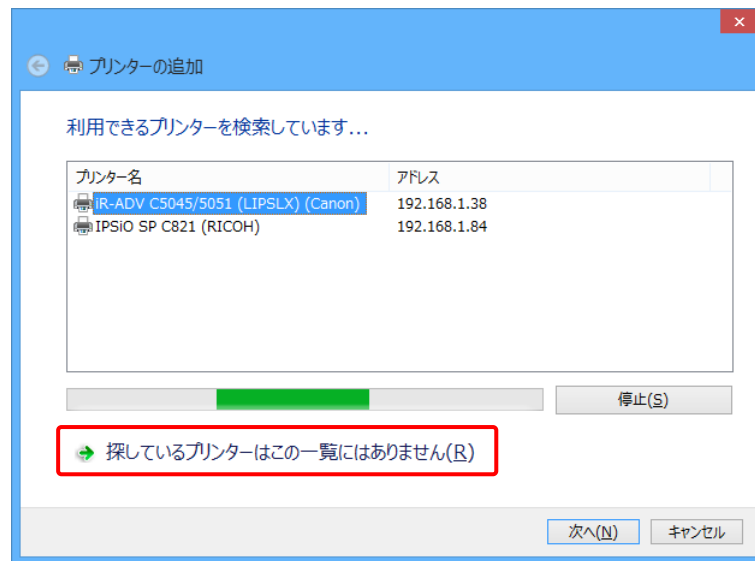


プリンターの種類の選択で「ローカルプリンターを追加します」を選択します。

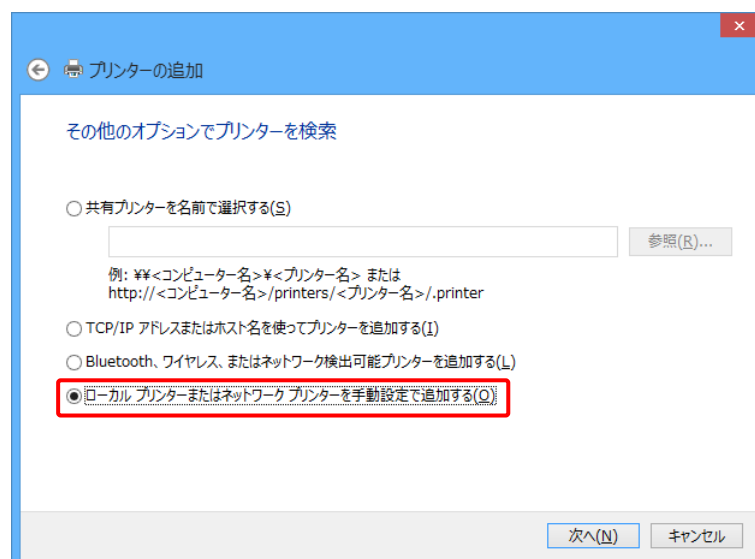
※ プリンターをネットワーク接続で使用する場合も「ローカルプリンターを追加します」を選択します。

2.1.2.2 プリンター追加ウィザードの選択(Windows 8 の場合)

つづいて、プリンターの種類を選択します。Windows 8 を使用中の場合のみ、本章を参照してください。



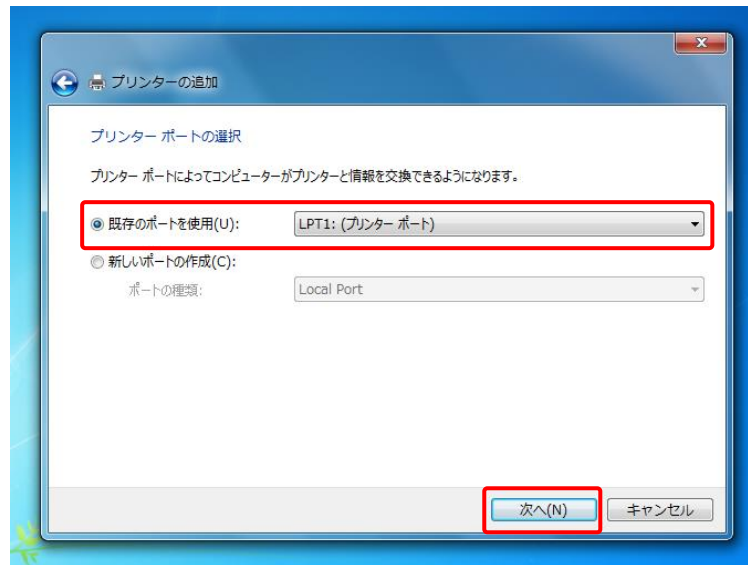
[探しているプリンターはこの一覧にはありません]を選択します。



その他のオプションでプリンターを検索で「ローカル プリンターまたはネットワークプリンターを手動で追加する」を選択します。

2.1.2.3 プリンターポートの選択

つづいて、プリンターポートの選択を行います。



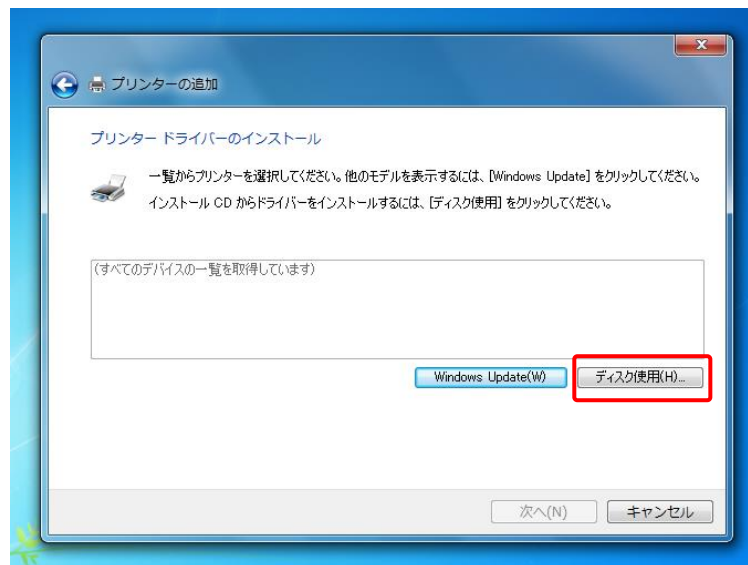
以下の種類のポートのいずれかを使用してください。

- 標準の TCP/IP ポート(Windows XP では Standard TCP/IP Port)
ネットワーク接続のプリンターで使用します。プリンターのホスト名または IP アドレスに対応するポートを選択します。
- USB の仮想プリンターポート(Windows XP では Virtual printer port for USB)
USB 接続のプリンターで使用します。

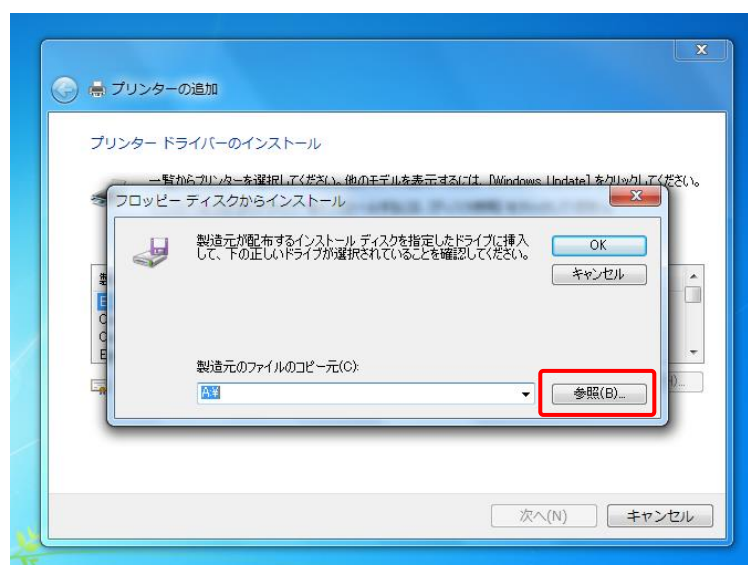
- ※ 「USB の仮想プリンターポート」はプリンターを USB ケーブルで接続した際に自動的に作成されます。
- ※ 「標準の TCP/IP ポート」の作成方法は「2.1.3.標準の TCP/IP ポートの追加」を参照してください。

2.1.2.4 プリンタドライバのインストール

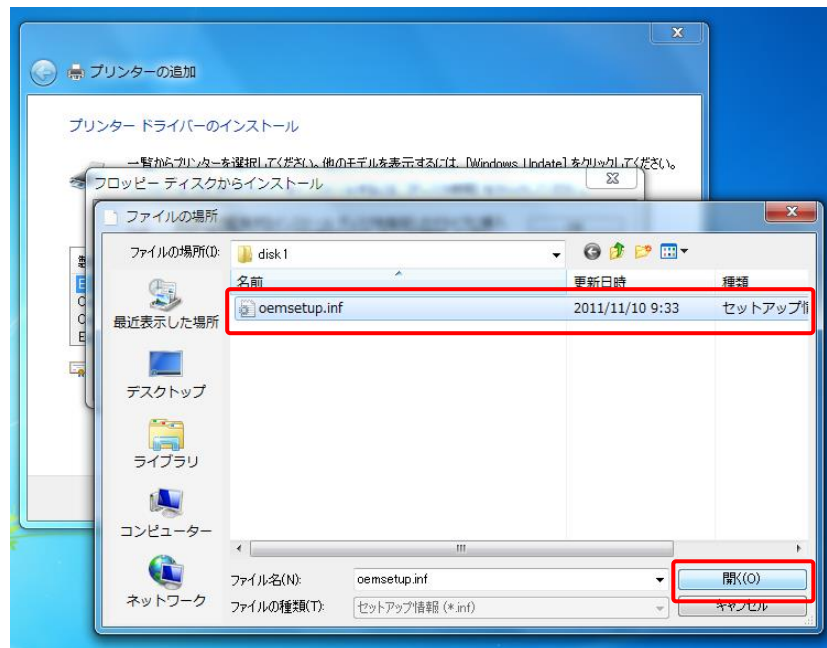
つづいて、プリンタドライバをインストールします。



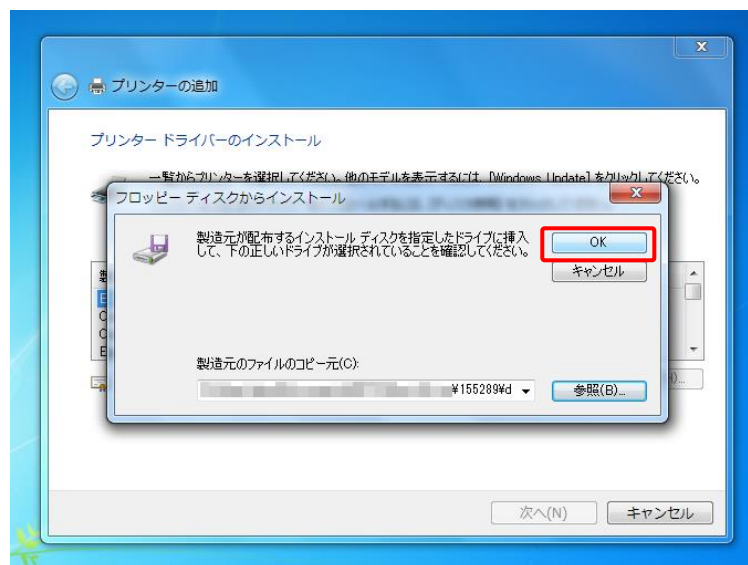
[ディスクを使用]ボタンを押して RPCS Basic ドライバーの inf ファイルを選択します。



[参照]ボタンを押します。

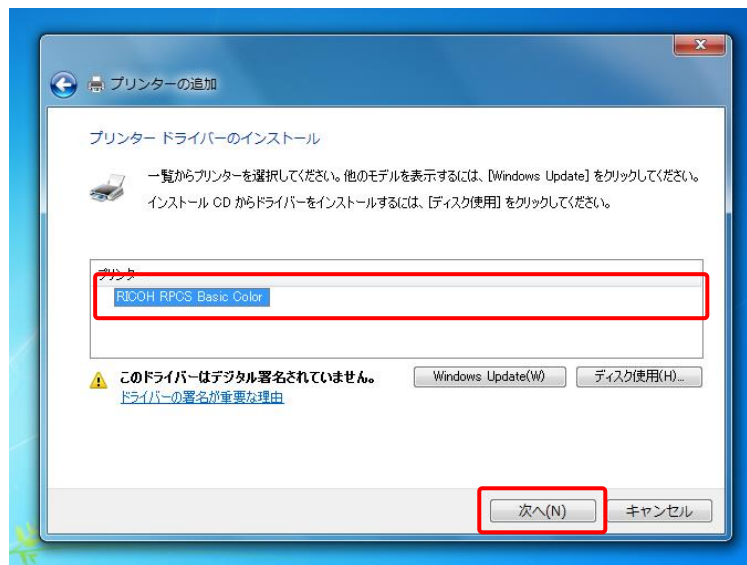


「2.1.1.RPCS Basic ドライバーの入手」で展開したフォルダーの中のフォルダー「disk1」の中に「oemsetup.inf」という名前のファイルがあるので、これを選択します。

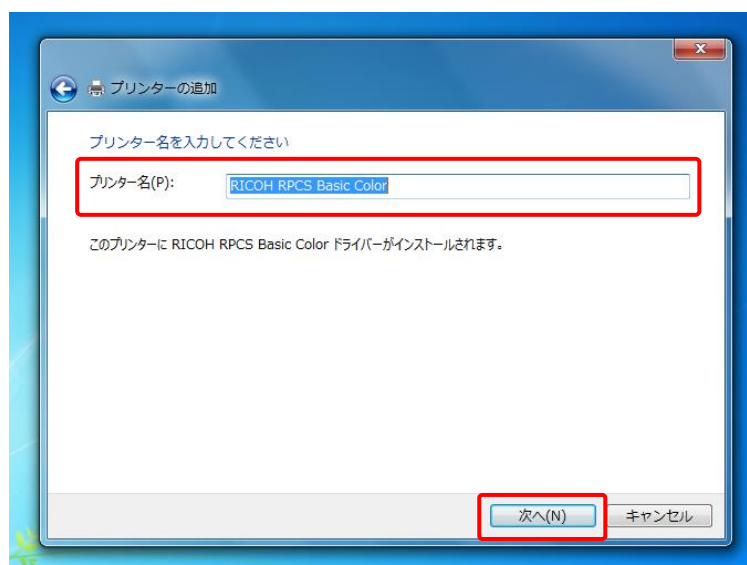


[OK]ボタンを押します。

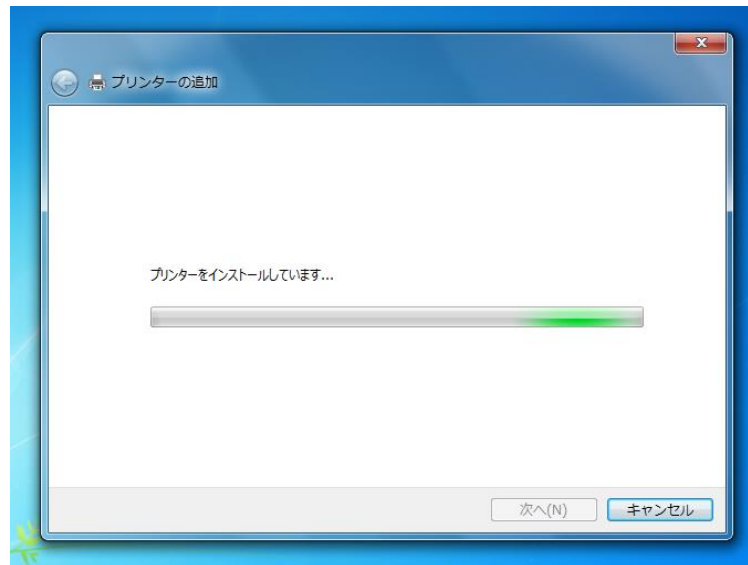
画面の一覧に「RICOH RPCS Basic Color」(モノクロ版の場合は「RICOH RPCS Basic BW」)が追加されます。



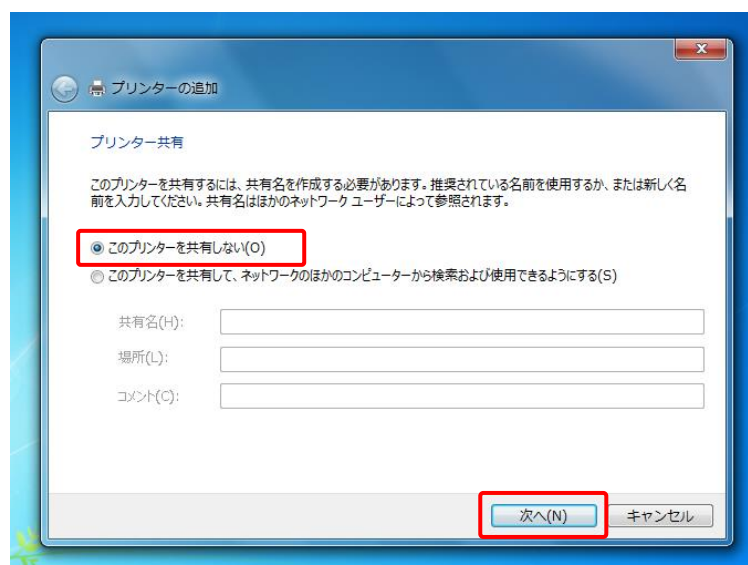
一覧で追加されたドライバーを選択して[次へ]ボタンを押します。



プリンター名を入力して[次へ]ボタンを押します。



ドライバーのインストールが完了すると以下の画面が表示されます。

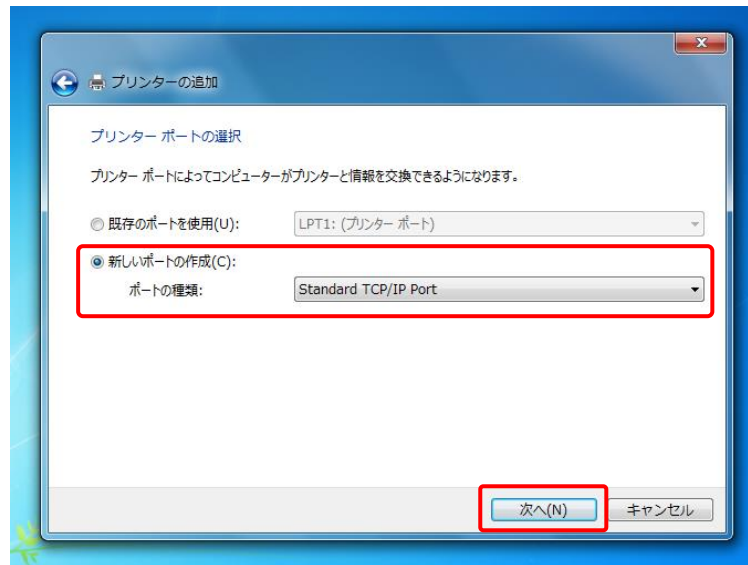


「このプリンターを共有しない」を選択して[次へ]ボタンを押すと、プリンターの追加が完了します。

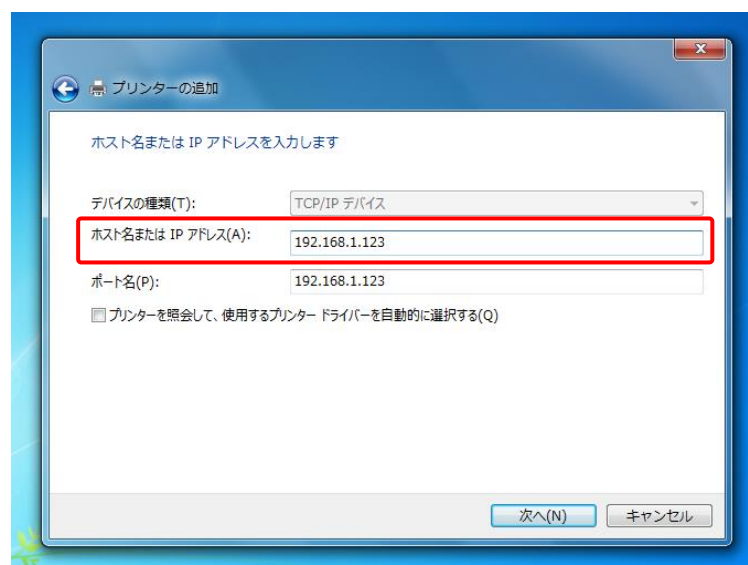
※ ここでプリンターを共有する設定にしても、他の PC にインストールした本エージェントソフトウェアからは利用できません。複数の PC に本エージェントソフトウェアをインストールする場合は、それぞれの PC に RPCS Basic ドライバーをインストールしてください。

2.1.3 標準の TCP/IP ポートの追加

プリンターの追加の際に「標準の TCP/IP ポート」を新規に作成する方法を説明します。
まず、プリンターポートの選択の際に「新しいポートの作成」を選択します。



ポートの種類で「Standard TCP/IP Port」を選択して[次へ]ボタンを押します。



「ホスト名または IP アドレス」の入力欄にホスト名または IP アドレスを入力します。ポート名はホスト名または IP アドレスの入力に合わせて自動的に入力されます。

入力完了後[次へ]ボタンを押すと、プリンタドライバのインストール画面に進みます。ここから先の操作は「2.1.2.4.プリンタドライバのインストール」を参照してください。

2.2 ネットワーク環境の設定

本ソフトウェアでは、PC で動作する本エージェントソフトウェアと iOS デバイスで動作する iOS 用アプリケーションとの間で通信を行います。通信が正しく行えるように設定が必要な場合があります。

2.2.1 無線 LAN ルーターの設定

LAN 内の PC と iOS デバイスが通信するためには無線 LAN ルーターが両者間の通信を許可している必要があります。無線 LAN ルーターの設定を確認して無線デバイス間の通信や無線デバイスと有線 LAN ポート間の通信を制限する設定になっていないか確認してください。

また、iOS 用アプリケーションの設定で、サーバーのホスト名の設定に IP アドレスではなくホスト名を設定する場合は、iOS デバイスと PC が同一のネットワークセグメントに接続している必要があります。PC を有線 LAN 側に接続している場合は、ブリッジモード設定等で無線側と有線側が同一のネットワークセグメントになるように設定してください。

2.2.2 Bonjour のインストール

iOS 用アプリケーションの設定で、サーバーのホスト名の設定に IP アドレスではなくホスト名を設定したい場合は、PC 側にアップルの提供するソフトウェア「Bonjour」をインストールする必要があります。

Bonjour はアップル製の以下のソフトウェアに含まれており、これらのソフトウェアをインストールすると自動的にインストールされます。

- iTunes
<http://www.apple.com/jp/itunes/download/>
- Bonjour Print Services for Windows
http://support.apple.com/kb/DL999?viewlocale=ja_JP&locale=ja_JP

必要に応じてこれらのうちのいずれかを PC にインストールしてください。iOS デバイスの同期用に iTunes をインストールしている場合は新たにインストールする必要はありません。

- ※ ホスト名に半角英数字 (a-z、A-Z、0-9) およびハイフン (-) 以外の文字が含まれている場合、名前解決に失敗する可能性があります。PC への接続失敗する場合にはホスト名を見直してください。
- ※ ファイアウォールの設定で Bonjour サービスの接続が拒否されている場合、名前解決に失敗します。PC への接続失敗する場合にはファイアウォールの設定を見直してください。
- ※ ドメイン環境で PC のコンピューター名が DNS サーバーに登録されている場合は、Bonjour は不要です。その場合はホスト名の設定にはドメイン名を含むフルネームの名前 (FQDN: Full Query Domain Name)を設定してください。

2.2.3 ファイアーウォールについて

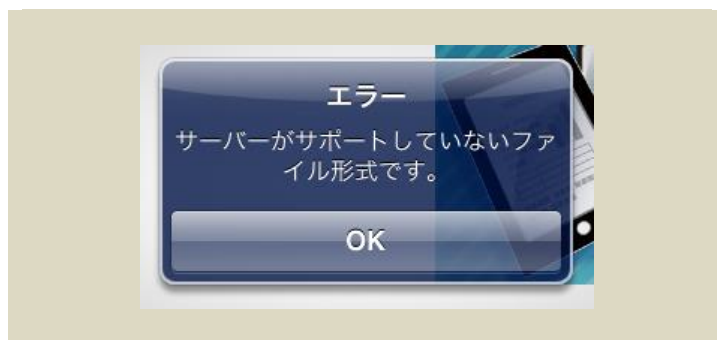
デバイスと PC の間のネットワーク上にファイアーウォールが設置されている場合は、ファイアーウォールの設定で、デバイス側から PC 側への TCP ポート 35798 番(または管理ツールで設定した待ち受けポートの番号)の通信を許可するように設定してください。

PC のファイアーウォール設定についてはエージェントソフトウェアのインストール後に設定します。詳細は「3.5.ファイアーウォールの設定」を参照してください。

2.3 印刷用アプリケーションのインストール

本エージェントソフトウェアは、印刷用アプリケーションを起動して文書の印刷を実行します。そのため、本エージェントソフトウェアのインストール先の PC に、印刷する文書の文書形式に対応した印刷用アプリケーションをあらかじめインストールしておく必要があります。

※ 印刷用アプリケーションがインストールされていない場合は、文書を開いた際に iOS アプリケーション上に以下のエラーが表示されます。



2.3.1 Microsoft Office のインストール

Office 文書を印刷するには Microsoft Office をインストールしておく必要があります。インストール CD 等から通常のインストール作業後、本エージェントソフトウェアを使用する前に、以下の作業を行ってください。

- ライセンス認証を完了してください。
- Office 2003 で docx/xlsx/pptx を印刷する場合は「Word/Excel/PowerPoint 用 Microsoft Office 互換機能パック」をインストールしてください。
- Microsoft Update で最新の更新をインストールしてください。

※ Office のライセンス認証を完了しないまま使用すると印刷に失敗する場合があります。

※ Office 2003 で「Word/Excel/PowerPoint 用 Microsoft Office 互換機能パック」インストール後 docx/xlsx/pptx の印刷がうまくいかない場合は Microsoft Update で Office の最新の更新をインストールしてください。

2.3.2 SkyPDF Viewer のインストール

PDF 文書の印刷に必要な SkyPDF Viewer のインストール方法について説明します。

2.3.2.1 SkyPDF Viewer の入手

SkyPDF Viewer を以下からダウンロードします。

<http://dl.skycom.jp/free.html>

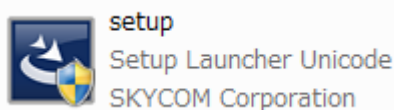


※ スクリーンショットはSkyPDF Viewer 4.0 での表示です。SkyPDF Viewer 2012 でもインストール手順は変わりません。

2.3.2.2 インストーラーの実行

ダウンロードした圧縮フォルダー(zip ファイル)を展開してインストール作業を始めます。
以下の手順については管理者ユーザーアカウントでログインして作業してください。

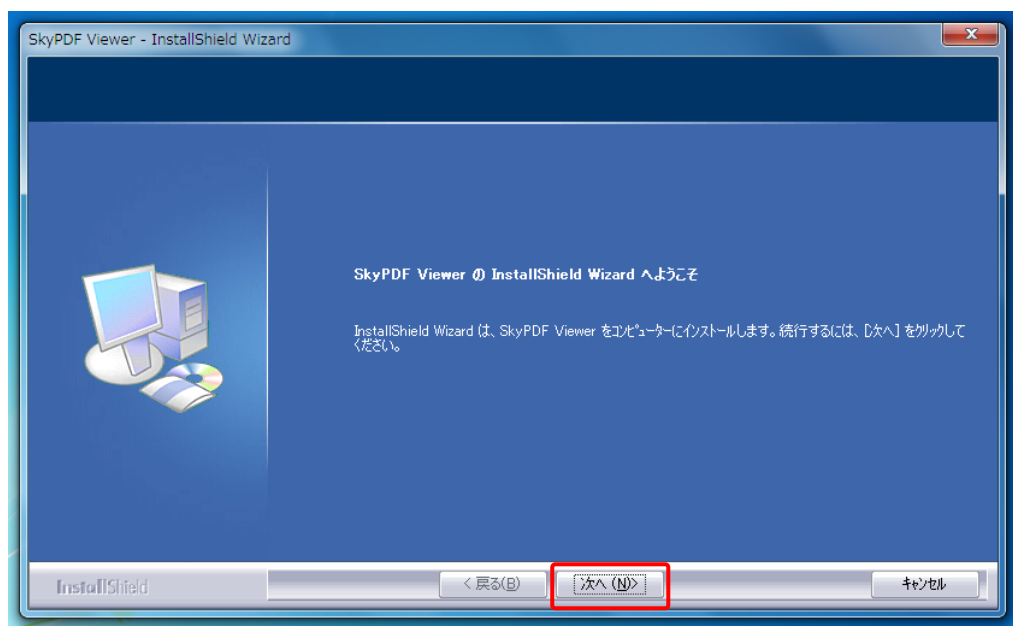
展開されたフォルダーの下にある setup.exe をダブルクリックしてインストーラーを開始します。



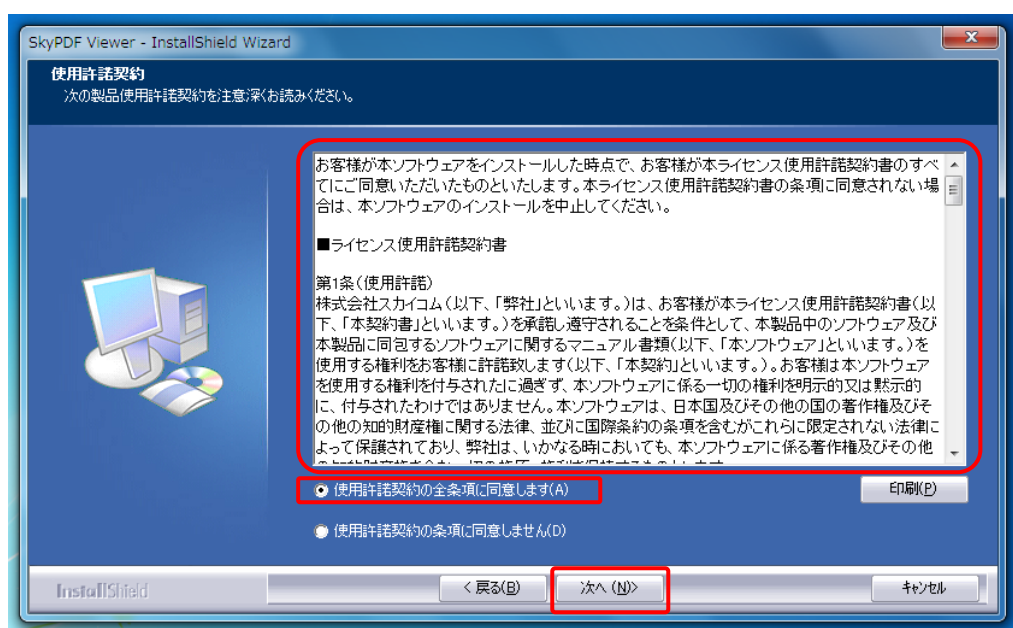
まず、インストールで使用する言語を選ぶ画面が表示されます。



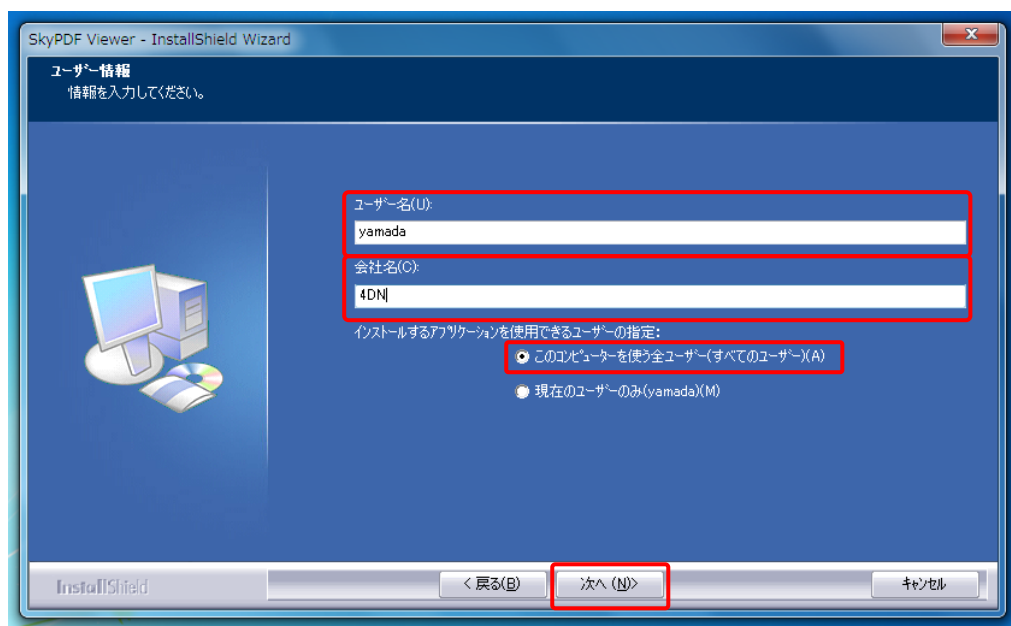
言語を選択して[OK]ボタンを押すとインストーラーの画面が表示されます。
以下「日本語」を選択した場合の画面で説明します。



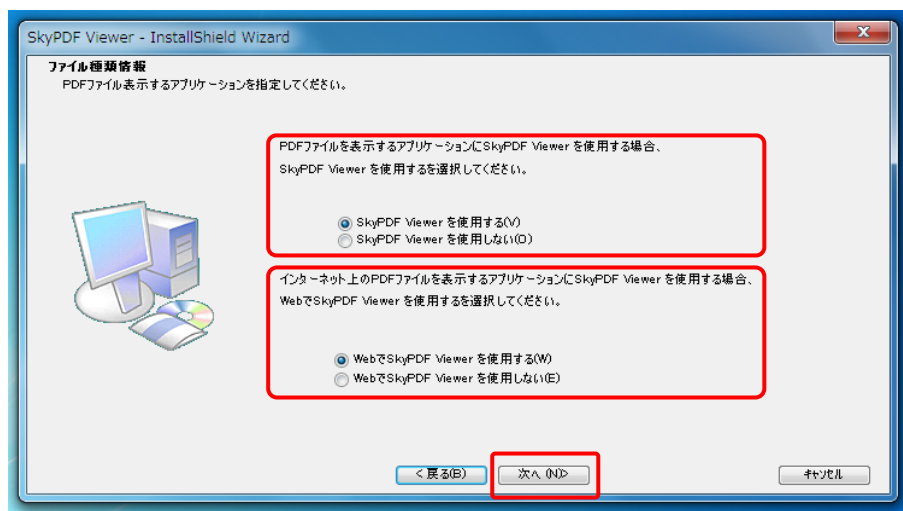
[次へ]ボタンを押します。



使用許諾契約に同意してインストールを続けるなら[使用許諾契約の全条項に同意します]を選択して[次へ]ボタンを押します。



任意のユーザー名と会社名を入力し、インストールするアプリケーションを使用できるユーザーの指定には「このコンピュータを使う全ユーザー(すべてのユーザー)」を選択して[次へ]ボタンを押します。

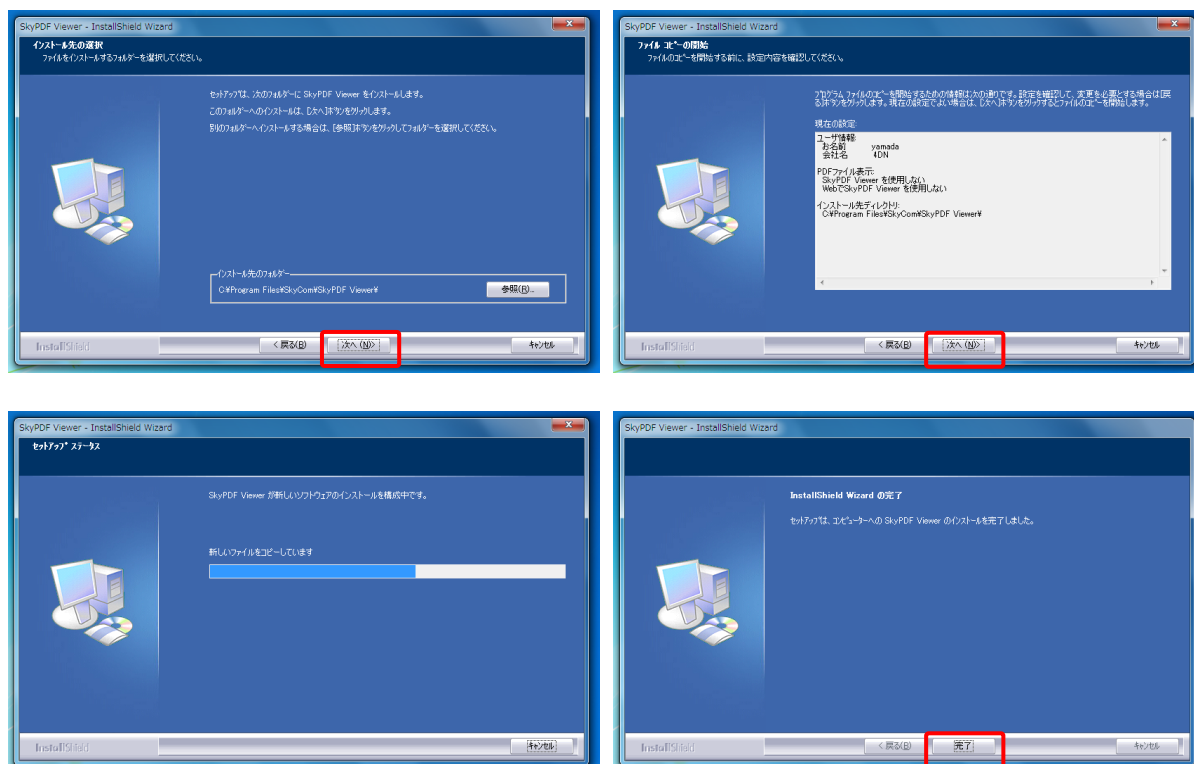


PDF ファイルを表示するアプリケーションに SkyPDF Viewer を使用するかどうかを選択します。ここでの選択は本エージェントソフトウェアの動作には影響しません。

PDF ファイルをダブルクリックした時に SkyPDF ビューアーで開きたい場合は「SkyPDF Viewer を使用する」を選択します。Adobe Reader 等、他の PDF ビューアーを使用中で、引き続き使用したい場合は「SkyPDF Viewer を使用しない」を選択します。

インターネット上の PDF ファイルを表示するアプリケーション(Web ブラウザのプラグイン)として SkyPDF Viewer を使用するかどうかも同様に選択します。

以降は画面の指示に従い[次へ]ボタンで画面を進めてインストールを完了してください。



3. エージェントソフトウェアのインストール

本エージェントソフトウェアをインストールする手順を説明します。

3.1 インストールの準備

3.1.1 圧縮フォルダーの展開

本エージェントソフトウェアは圧縮フォルダー形式(zip ファイル)で提供されています。
インストールを行う前に、圧縮フォルダーを以下のいずれかの方法で展開してください。

- 圧縮フォルダーをダブルクリックして開き、KantanMobilePrintAgent-v1.0.0 という名前のフォルダーを圧縮フォルダーから新しい場所にドラッグしてください。
- 圧縮フォルダーを右クリックして、表示されるメニューの[すべてを展開]をクリックし、指示に従って操作してください。

※ フォルダー名 KantanMobilePrintAgent-v1.0.0 の「1.0.0」の部分は本エージェントソフトウェアのバージョンにより異なります。

※ 展開したフォルダーはインストール完了後削除できます。

3.1.2 インターネット接続

インストール先 PC に .NET Framework 3.5 がインストールされていない場合は、インストーラーが .NET Framework 3.5 のインストールを行うために、インストール中はインターネットに接続している必要があります。

.NET Framework 3.5 のインストール時にはマイクロソフトのサイトから約 231MB のファイルのダウンロードを行います。十分な速度のインターネット接続を確保してください。

※ Windows 7/2008R2 では、.NET Framework 3.5 が標準でインストールされています。

※ インストール先 PC のインターネット接続が確保できない場合は .NET Framework 3.5 Service Pack 1 の「完全なパッケージ」を入手してインストールしてください。「完全なパッケージ」はマイクロソフトの以下のサイトからダウンロードできます。

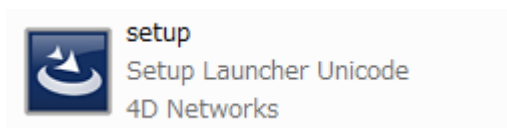
<http://www.microsoft.com/downloads/ja-jp/details.aspx?familyid=ab99342f-5d1a-413d-8319-81da479ab0d7>

「注意事項」の末尾にある「.NET Framework 3.5 Service Pack 1 (完全なパッケージ)」をダウンロードしてください。

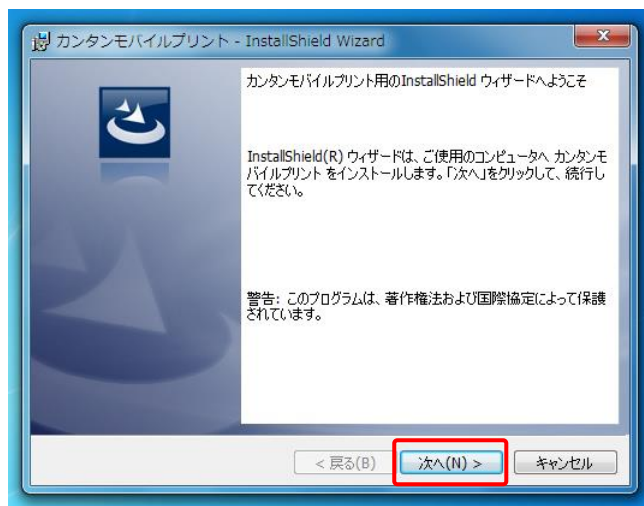
3.2 インストーラーの実行

以下の手順については管理者ユーザーアカウントでログインして作業してください。

展開されたフォルダーの下にある setup.exe をダブルクリックしてインストーラーを起動します。

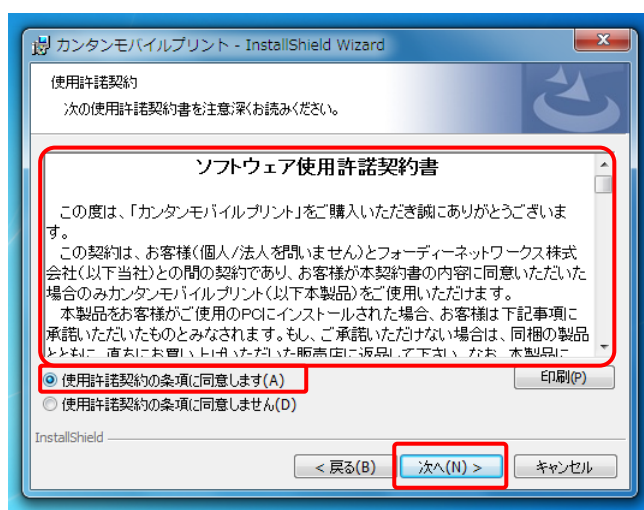


インストーラーが起動すると以下の画面が表示されます。

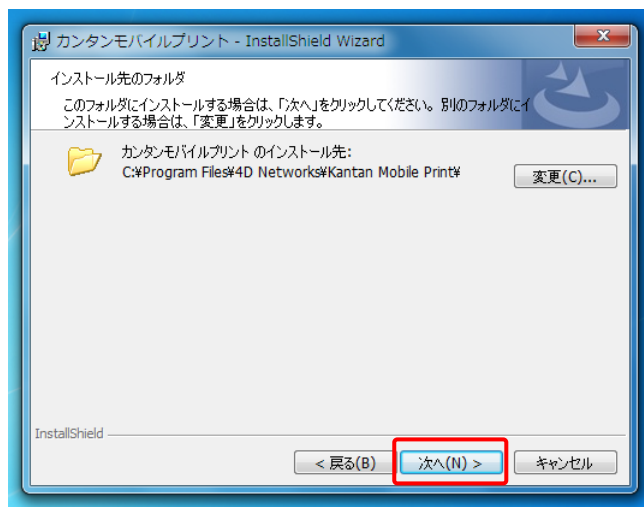


※ .NET Framework 3.5 がインストールされていない環境では、先に .NET Framework のインストーラーが起動して、.NET Framework のインストール完了後にこの画面が表示されます。詳細は「3.6. .NET Framework 3.5 のインストール」を参照してください。

[次へ]ボタンを押すと使用許諾契約の画面に進みます。



使用許諾契約に同意してインストールを続けるなら[使用許諾契約の条項に同意します]を選択して[次へ]ボタンを押します。



ここでインストール先のフォルダーを選択します。デフォルトのインストール先から変更の必要がなければそのまま[次へ]ボタンを押して進みます。

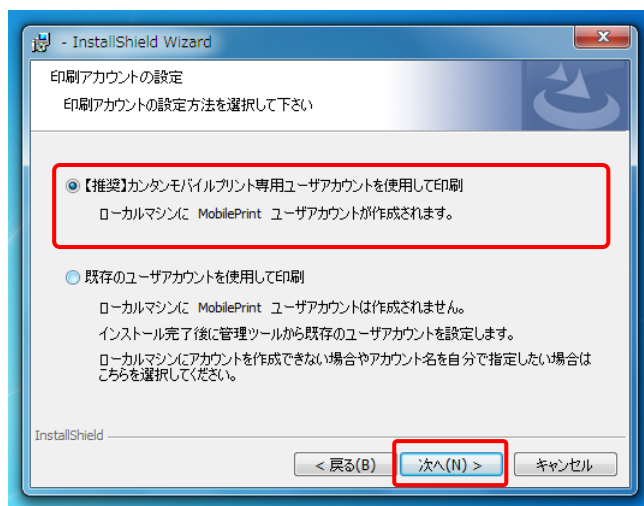
デフォルトのインストール先は以下のフォルダーです。

32bit 版 Windows の場合 : C:\Program Files\4D Networks\Kantan Mobile Print\

64bit 版 Windows の場合 : C:\Program Files (x86)\4D Networks\Kantan Mobile Print\

C ドライブの空き容量が足りない等の理由でインストール先を変更する場合は、[変更]ボタンを押してインストール先フォルダーを選択してください。

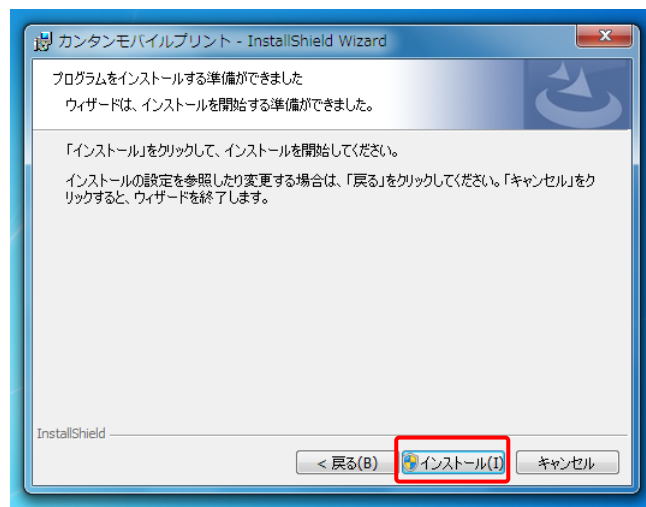
[次へ]ボタンを押すと印刷アカウントの設定画面に進みます



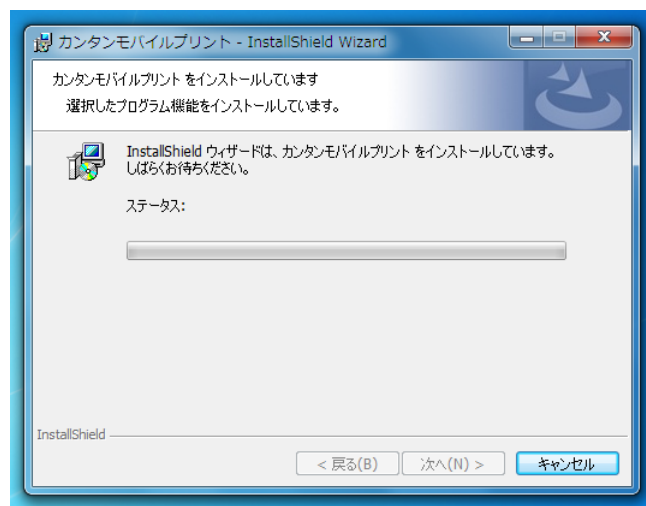
ここでは印刷に使用するユーザーアカウントの設定方法を選択します。通常は「カンタンモバイルプリント専用ユーザーアカウントを使用して印刷」を選択してください。印刷アカウントに適した設定のユーザーアカウントが自動的に作成されます。

ローカルマシンにユーザーアカウントが作成できない環境では「既存のユーザーアカウントを使用して印刷」を選択して、インストール後に管理ツールからユーザーアカウントを設定してください。

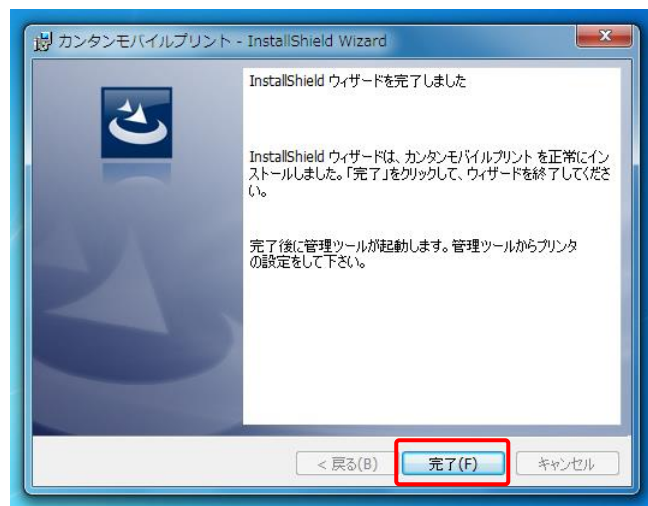
[次へ]を押すとインストール開始の画面に進みます。



[インストール]ボタンを押すとインストールが開始します。



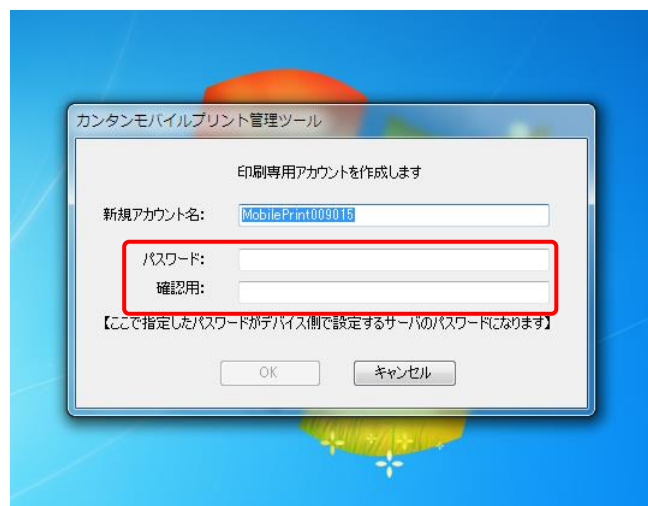
インストールが完了すると次の画面になります。



[完了]を押すとインストーラーが終了して、管理ツールが起動します。

3.3 印刷専用アカウントの設定

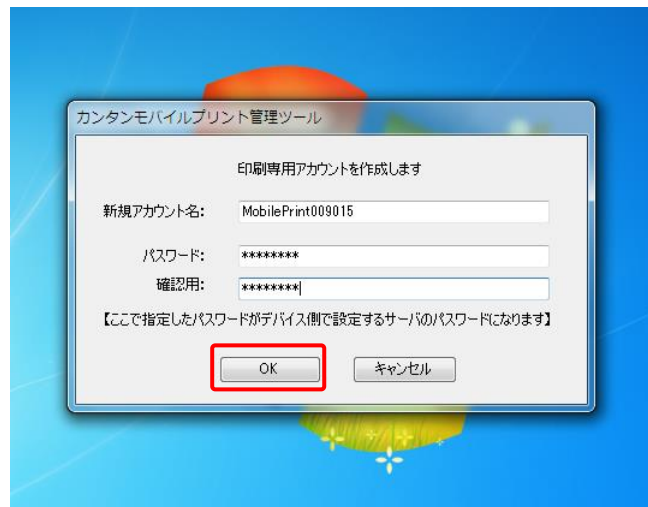
インストーラーの印刷アカウントの設定画面で「カンタンモバイルプリント専用ユーザーアカウントを使用して印刷」を選択している場合は、インストーラー終了後自動的に印刷専用アカウントの作成画面が開きます。



新規アカウント名には自動的に生成されたアカウント名(「MobilePrint」にランダムな 6 桁の数字が続く名前)が入力済みです。ここは通常は変更しないでください。

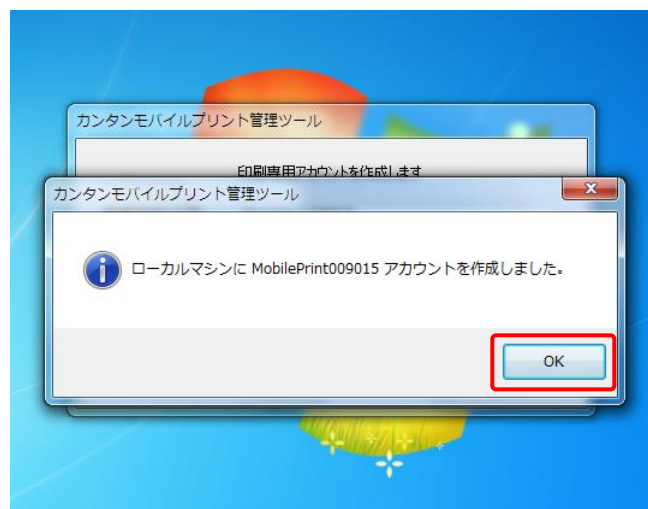
印刷専用アカウントのパスワードを決めて、パスワード入力欄と確認用入力欄にパスワードを入力してください。

※ ここで入力したパスワードが、iOS 用アプリケーションの設定画面でサーバー設定に設定するパスワードになります。



[OK]ボタンを押すとアカウントが作成されます。

※ [OK]ボタンがグレイアウトして押せない場合は、パスワード入力欄と確認用入力欄に入力したパスワードが一致していません。もう一度パスワードを確かめて再入力してください。



[OK]ボタンを押すと画面が閉じて、管理ツールのメイン画面が開きます。

3.4 プロダクトキーの登録

試用版として使用する場合はこのまま使用開始できます。製品版として使用する場合は管理ツールからプロダクトキーの登録を行う必要があります。詳細は「4.1.ライセンス認証」を参照してください。

※ 試用版にはインストール後 30 日の試用期限と機能制限があります。詳細は「4.8.試用版」を参照してください。

3.5 ファイアーウォールの設定

本エージェントソフトウェアのインストール後、ファイアーウォールの設定が必要になる場合があります。

3.5.1 Windows ファイアーウォールの場合

本エージェントソフトウェアのインストーラーは Windows ファイアーウォールの設定を自動的に追加するため、Windows ファイアーウォールを使用している場合は設定の必要はありません。

3.5.2 その他のファイアーウォールの場合

本エージェントソフトウェアはインストール後自動的に起動します。セキュリティソフトウェアが自動検知する場合は、この時に確認画面が表示されるので、外部との送受信を許可するように設定してください。

手動でアプリケーション単位の許可を設定する場合は、JasPrintService.exe に対して外部との送受信を許可するように設定してください。

手動でポート単位の許可を設定する場合は、TCP ポート 35798 番(または管理ツールで設定した待ち受けポートの番号)を開くように設定してください。

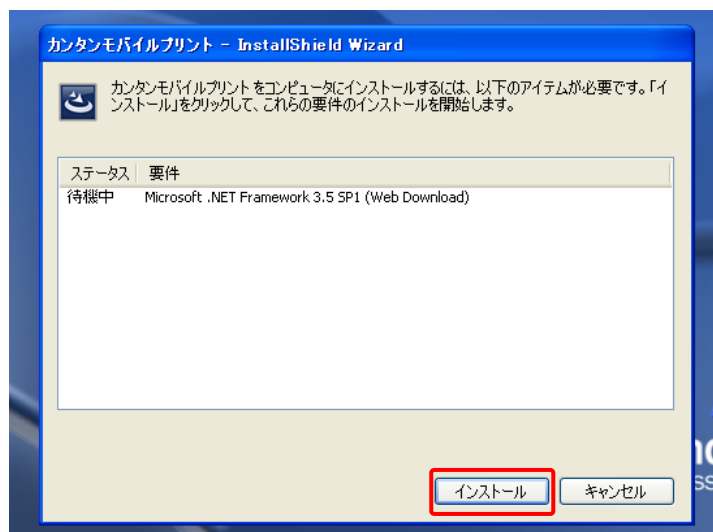
※ 具体的な設定方法は、お使いのセキュリティソフトウェアの取扱説明書等を参照してください。

3.6 .NET Framework 3.5 のインストール

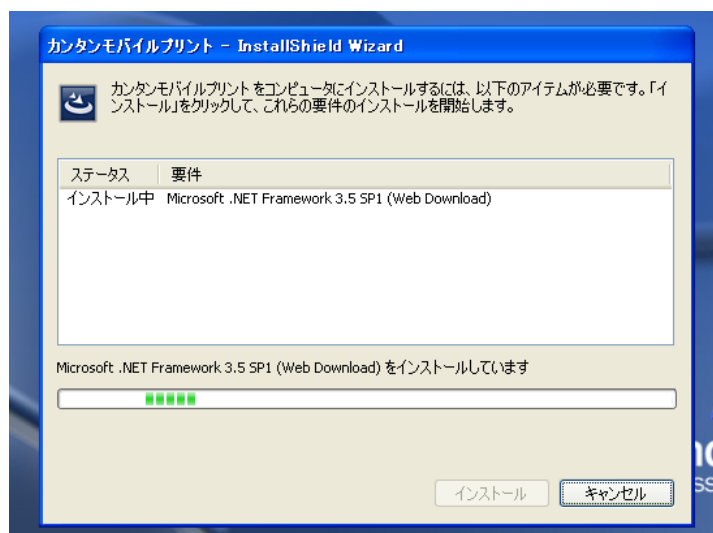
.NET Framework 3.5 がインストールされていない環境ではインストーラーの開始前に .NET Framework 3.5 のインストール画面が表示されます。

※ インストール先 PC の OS が Windows 7/2008R2 の場合は、標準で .NET Framework 3.5 がインストール済みです。

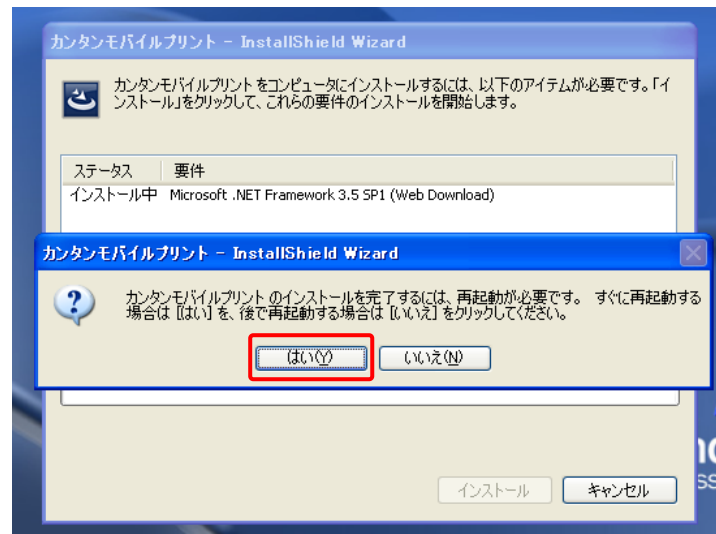
※ この章のスクリーンショットは Windows XP での表示です。



[インストール]ボタンを押すとインストールが開始します。



インストールが完了すると PC の再起動を促す画面が表示されます。



本エージェントソフトウェアのインストールを続行するには PC の再起動が必要になります。他に実行中のプログラムがある場合は終了して、[はい]ボタンを押して再起動してください。

再起動後、再び管理者ユーザーアカウントでログインすると、自動的にインストーラーが起動します。その後の手順については「3.2.インストーラーの実行」を参照してください。

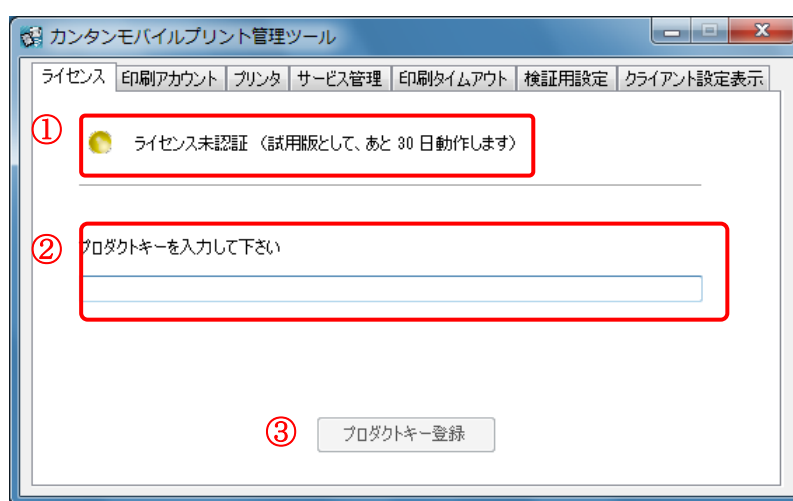
※ インストールが完了後 PC の再起動を促す画面が表示されない場合があります。その場合は再起動は必要ありません。

4. 管理ツール

本エージェントソフトウェアの管理ツールの機能と操作方法について説明します。

4.1 ライセンス認証

管理ツールの[ライセンス]タブを選択すると、ライセンス認証の状態の確認とプロダクトキーの登録ができます。



① ライセンス認証状態表示欄


ライセンス認証の状態を表示します。
ライセンス認証の状態には以下の三種類があります。

ライセンス未認証(試用中)

 ライセンス未認証 (試用版として、あと 30 日動作します)


プロダクトキーを登録せずに試用版として動作している状態です。試用期限の残り日数も表示されます。

ライセンス認証済み

 ライセンス認証済み (ライセンスNo=1)

正しいプロダクトキーを登録して製品版として動作している状態です。ライセンス No も表示されます。

ライセンス未認証(期限終了)

 ライセンス未認証 (試用版の期限が終了しました)

インストール後 30 日を経過して試用期限が終了した状態です。この状態では印刷機能は動作しません。

② プロダクトキー入力欄	<p>ライセンス未認証の場合は、ここにプロダクトキーを入力して[プロダクトキー登録]ボタンを押すとプロダクトキーが登録されます。</p> <p>ライセンス認証済みの場合は登録したプロダクトキーがここに表示されます。</p> <p>※ プロダクトキーは半角英数文字で入力してください。 ハイフンは入力してもしなくてもかまいません。</p>
③ [プロダクトキー登録]ボタン	<p>プロダクトキー入力欄に入力されたプロダクトキーの登録を行い、ライセンス認証を実行します。</p>

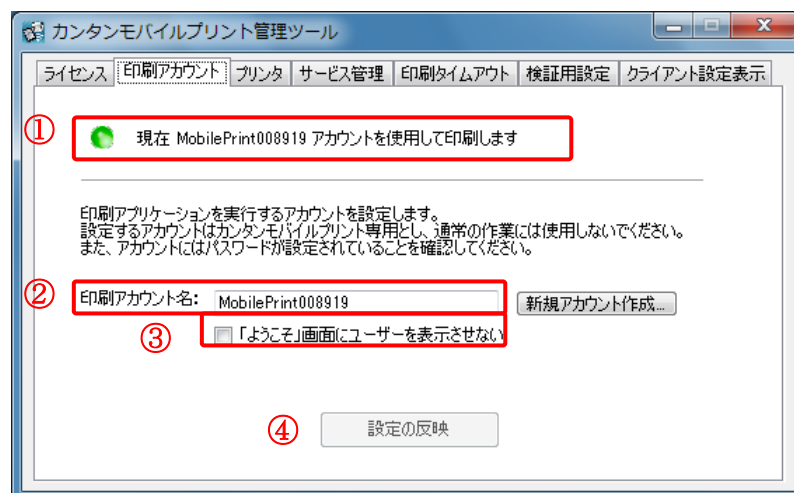
4.2 印刷アカウントの設定


インストール時に「既存のユーザーアカウントを使用して印刷」を選択した場合は、管理ツールの[印刷アカウント]タブを選択して印刷アカウントの設定ができます。


印刷アカウントを確認や新規作成もここでできます。

4.2.1 印刷アカウントの確認と変更

印刷アカウントの確認と変更ができます。

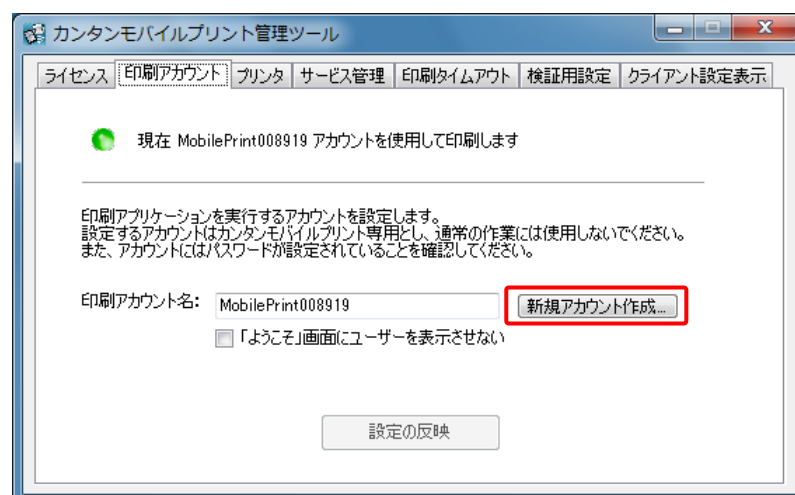


① 印刷アカウント設定表示欄	<p>印刷アカウントの設定を表示します。</p> <p>印刷アカウント未設定</p> <p> 印刷アカウントの設定がありません。 下記から印刷アカウントを設定して下さい。</p> <p>インストール時に「既存のユーザーアカウントを使用して印刷」を選択した場合の初期状態です。</p>
----------------	---

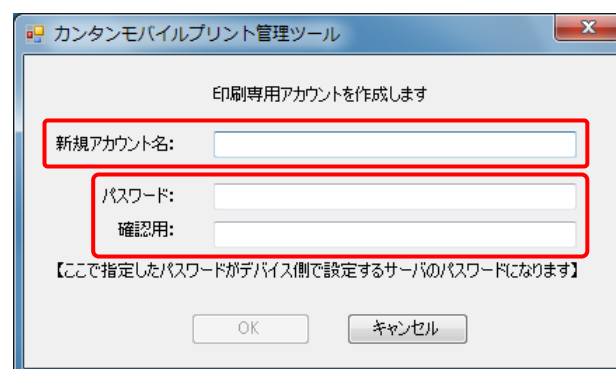
	<p>印刷アカウント設定済</p> <p> 現在 MobilePrint009015 アカウントを使用して印刷します</p> <p>印刷アカウントが設定済みの場合は、現在設定されている印刷アカウント名が表示されています。</p>
② 印刷アカウント名入力欄	ここに印刷アカウント名を入力して、[設定の反映]ボタンを押すと印刷アカウントの設定が変更されます。
③ 「ようこそ」画面にユーザーを表示させない設定欄	Windows 起動時の画面に印刷アカウントで設定したアカウントを表示するかを設定します。通常はチェックボックスにチェックを入れた状態としてください。なお、管理者権限やドメインユーザーの場合は本設定は有効になりません。
④ [設定を反映]ボタン	印刷アカウント名入力欄に入力された名前のアカウントを印刷アカウントに設定します。

4.2.2 印刷アカウントの作成

印刷アカウントを新規に作成する場合は、以下の手順で作成します。



[新規アカウント作成]ボタンを押して、以下の画面を開きます。



新規に作成するアカウントのアカウント名と、パスワードを入力します(以下の例では MyMobilePrint というアカウント名で作成しています)

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled 'カンタンモバイルプリント管理ツール' (Simple Mobile Print Management Tool). The main text says '印刷専用アカウントを作成します' (Create a print-only account). There are three input fields: '新規アカウント名:' (New account name) with 'MyMobilePrint' entered, 'パスワード:' (Password) with '*****' entered, and '確認用:' (Confirmation) with '*****' entered. Below the fields is a note: '【ここで指定したパスワードがデバイス側で設定するサーバのパスワードになります】' (The password specified here will be the password for the server set on the device side). At the bottom are two buttons: 'OK' and 'キャンセル' (Cancel). The 'OK' button is highlighted with a red rectangle.

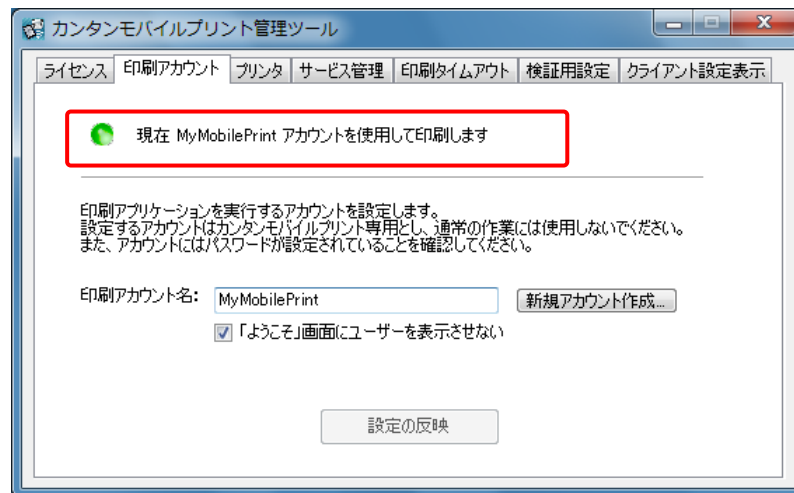
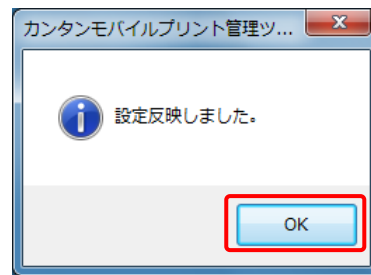
[OK]ボタンを押すとアカウントが作成されます。

The screenshot shows a message box titled 'カンタンモバイルプリント管理ツール'. It contains an information icon (i) and the text 'ローカルマシンに MyMobilePrint アカウントを作成しました。' (MyMobilePrint account created on local machine). At the bottom right is an 'OK' button, which is highlighted with a red rectangle.

[OK]ボタンを押すと、管理ツールの画面の印刷アカウント名入力欄に、作成したアカウント名が入力されます。

The screenshot shows the '印刷アカウント' (Print Account) tab in the 'カンタンモバイルプリント管理ツール'. At the top, it says '現在 MobilePrint008919 アカウントを使用して印刷します' (Currently printing using MobilePrint008919 account). Below is a section for setting the account, with the text: '印刷アプリケーションを実行するアカウントを設定します。設定するアカウントはカンタンモバイルプリント専用とし、通常の作業には使用しないでください。また、アカウントにはパスワードが設定されていることを確認してください。' (Set the account to run the print application. The account to be set is for Simple Mobile Print only and should not be used for normal work. Also, confirm that the account has a password set). There is an input field for '印刷アカウント名:' (Print account name) with 'MyMobilePrint' entered. To the right of the field is a button labeled '新規アカウント作成...' (Create new account...). Below the input field is a checkbox labeled '「ようこそ」画面にユーザーを表示させない' (Do not display user on 'Welcome' screen), which is checked. At the bottom is a button labeled '設定の反映' (Apply settings), which is highlighted with a red rectangle.

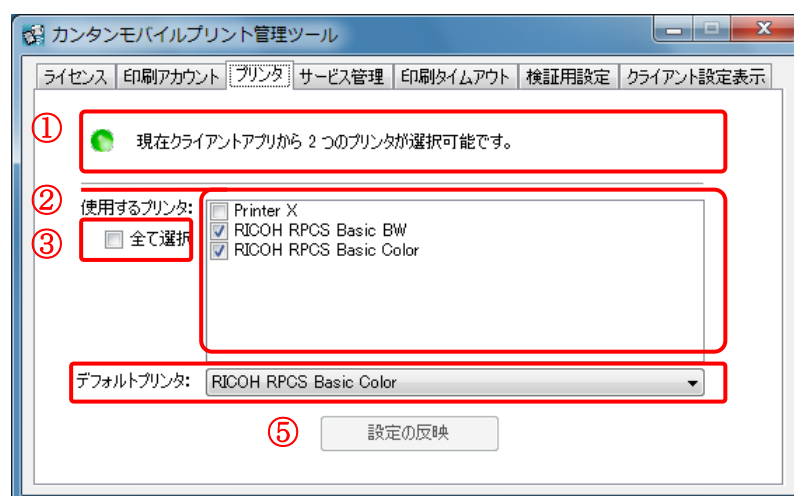
[設定の反映]ボタンを押すと作成したアカウントが設定されます。



印刷アカウント設定表示欄に表示されるアカウント名が変更されているのを確認してください。
パスワードを変更した場合は、iOS 用アプリケーション側のサーバー設定も変更してください。

4.3 プリンターの設定

管理ツールの[プリンタ]タブを選択して印刷に使用するプリンターの設定ができます。
画面表示項目は以下の通りです。

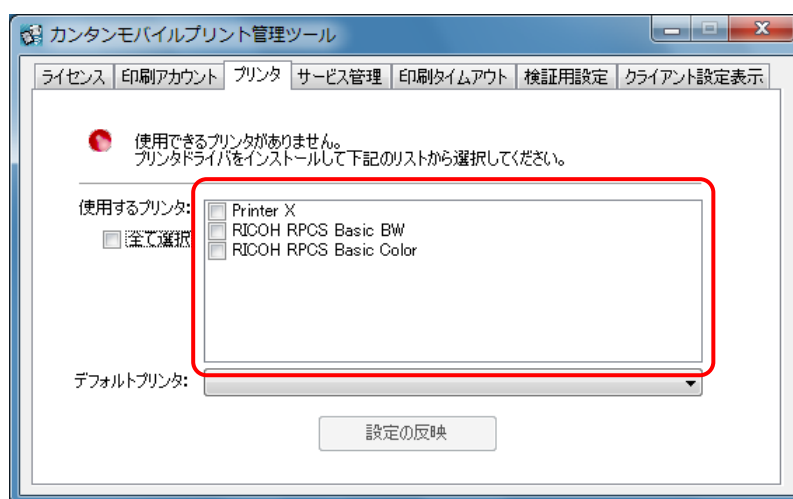


① プリンター設定表示欄	現在 iOS 用アプリケーションから選択可能なプリンターの数を
--------------	---------------------------------

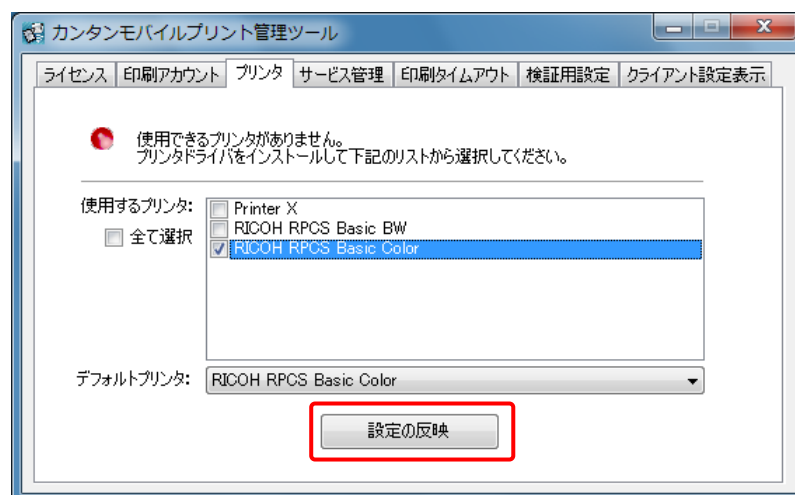
	表示します。
② プリンター一覧	利用可能なプリンターの一覧です。 チェックボックスにチェックの入ったプリンターは iOS 用アプリケーションから選択可能です。
③ 全て選択	プリンター一覧のチェックボックスを全て選択または解除した状態とします。
④ デフォルトプリンター選択メニュー	iOS 用アプリケーションの印刷設定で、デフォルトで選択されるプリンターを選択するプルダウンメニューです。
⑤ [設定を反映]ボタン	②④で変更した設定をエージェントに反映させます。

4.3.1 使用するプリンターの選択

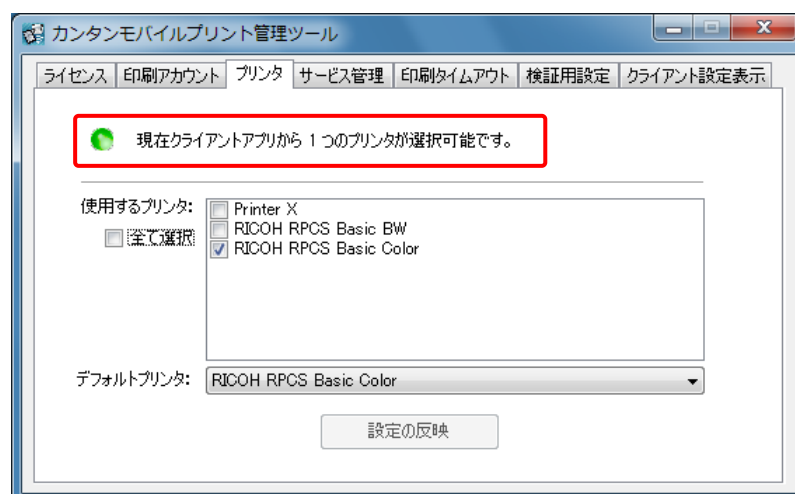
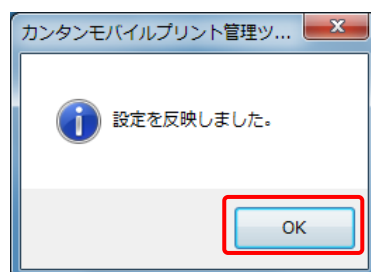
プリンター一覧から使用するプリンターを選択して設定する手順を説明します(以下の例ではプリンターが一つも選択されていない状態から始めます)。



プリンター一覧にあるプリンターから、使用するプリンターの行のチェックボックスにチェックを入れます。プリンターを選択すると[設定の反映]ボタンが有効になります。



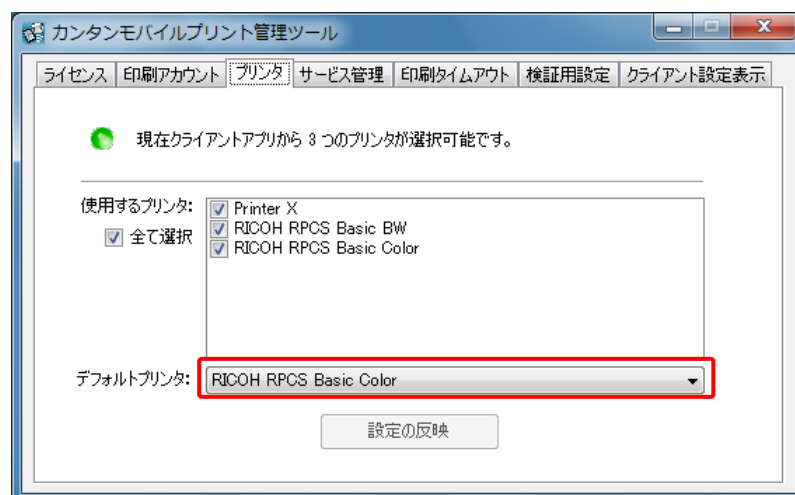
[設定の反映]ボタンを押します。



プリンターの設定が反映されます。プリンター設定表示欄に選択したプリンターの数が表示されているのを確認してください。

4.3.2 デフォルトプリンターの選択

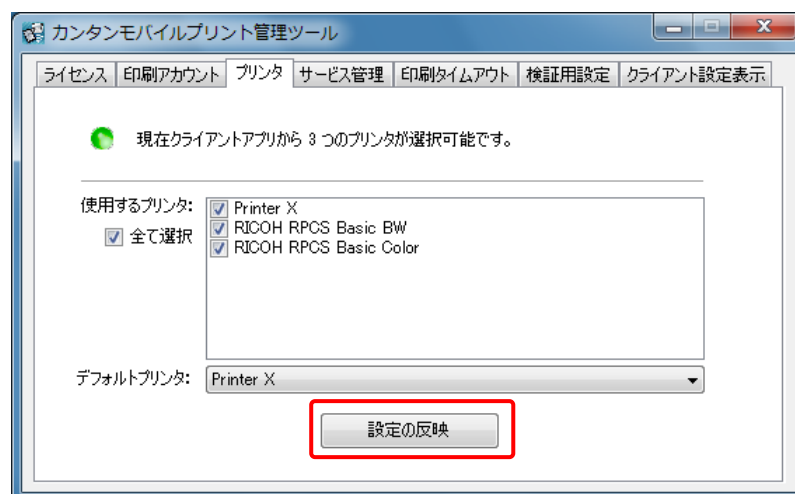
iOS アプリケーションで印刷設定を行う際にデフォルトで選択されるプリンターを設定できます。



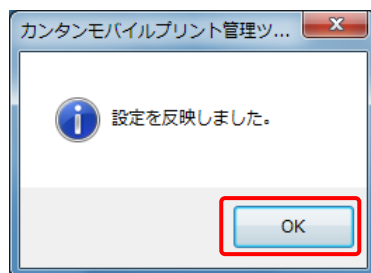
デフォルトプリンター選択メニューを開きます。



メニューからデフォルトプリンターに設定したいプリンターを選択します。



[設定の反映]ボタンを押します。



デフォルトプリンターの設定が反映されます。

4.3.3 プリンターの追加・削除・プリンター名の変更

Windows でプリンターの追加・削除・プリンター名の変更をする場合、管理ツールでプリンターの設定が必要になります。それぞれの場合について設定手順を説明します。

4.3.3.1 プリンターの追加

追加したプリンターを印刷に使用する場合は、Windows でプリンターの追加を行った後、管理ツールのプリンター一覧で追加したプリンターのチェックボックスにチェックを入れて[設定を反映]ボタンを押してください。

※ 管理ツールを起動して[プリンタ]タブを開いた状態でプリンターの追加を行った場合は、プリンター一覧に追加したプリンターが反映されません。他のタブに切り替えてから[プリンタ]タブを開きなすか、一度管理ツールを終了して起動しなおしてください。

4.3.3.2 プリンターの削除

印刷に使用中のプリンターを削除する場合は、先に管理ツールのプリンター一覧で削除するプリンターのチェックボックスのチェックを外して[設定を反映]ボタンを押して、使用しないようにしてから Windows でプリンターを削除してください。

※ 先にプリンターを削除した場合は、削除後に管理ツールを起動して[プリンタ]タブを開いてください。[プリンタ]タブを開いたタイミングで削除結果が自動的に設定に反映されます。

4.3.3.3 プリンター名の変更

印刷に使用中のプリンターの名前を変更する場合は、先に管理ツールのプリンター一覧で名前を変更するプリンターのチェックボックスのチェックを外して[設定を反映]ボタンを押して、使用しない設定にしてください。

その後 Windows でプリンター名を変更した後で、再び管理ツールを起動して[プリンタ]タブを開くとプリンター一覧に新しい名前のプリンターが表示されるので、チェックボックスにチェックを

入れて[設定を反映]ボタンを押してください。

※ 先にプリンター名を変更した場合は、プリンター名変更後に管理ツールを起動して同様の設定を行ってください。

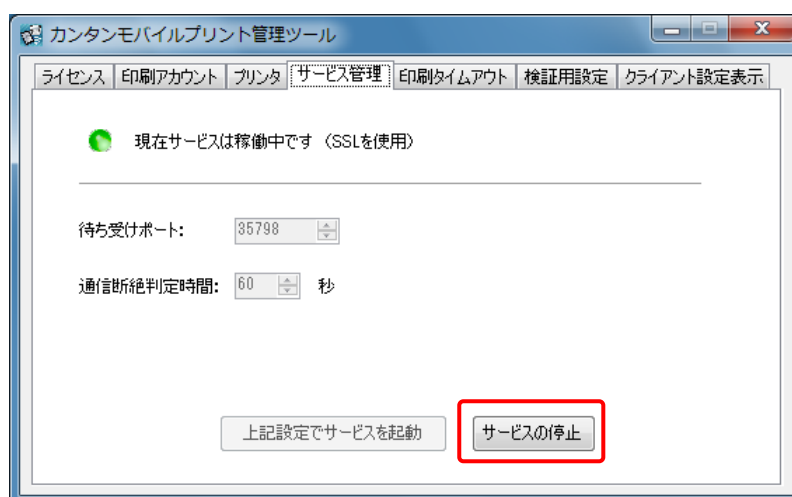
4.4 サービスの管理

本エージェントソフトウェアは Windows のサービスとしてバックグラウンドで動作します。インストール直後から起動し、以後 Windows の起動時にサービスが自動的に起動します。

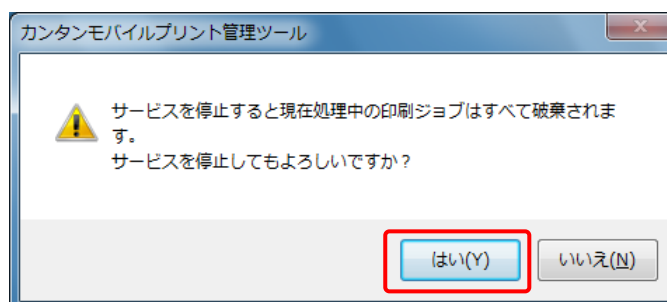
管理ツールの[サービス管理]タブを選択すると、サービスの起動・停止と通信の設定ができます。

4.4.1 サービスの停止

環境の再設定作業中に印刷を受け付けないようにする、通信の設定を変更する、などの目的で起動中のサービスを停止したい場合は以下の操作で停止します。



[サービスの停止]ボタンを押すと確認画面が開きます。



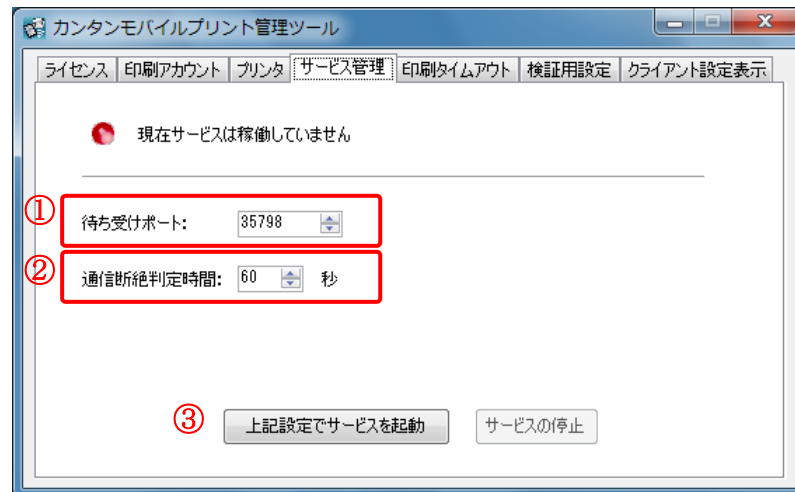
サービスを停止すると、処理中の印刷ジョブは全て破棄されます。問題なければ[はい]ボタンを押すとサービスは停止します。

※ サービスを停止しても、既に印刷処理が実行されてプリンターの印刷キューに入った印刷ジョブ

ブは取り消されずに印刷されます。

4.4.2 サービスの設定と起動

サービス停止中は通信設定を変更できます。



① 待ち受けポート入力欄	サービスの待ち受けに使用する TCP ポート番号を設定します。 初期値は 35798 番です。 ここで設定したポート番号が、iOS 用アプリケーションの設定画面でサーバー設定に設定するポート番号になります。
② 通信断絶判定時間入力欄	通信中にデータが届かなくなった場合にエラーとして処理するまでの待ち時間を秒単位で設定します。 初期値は 60 秒です。 通信回線が不安定な場合や速度が遅い場合はこの値を増やします。通信回線が安定して速度が出ている場合はこの値を減らすと通信障害発生時の待ち時間が短縮できます。
③ [サービスを起動]ボタン	設定を反映してサービスを起動します。

4.5 その他の設定

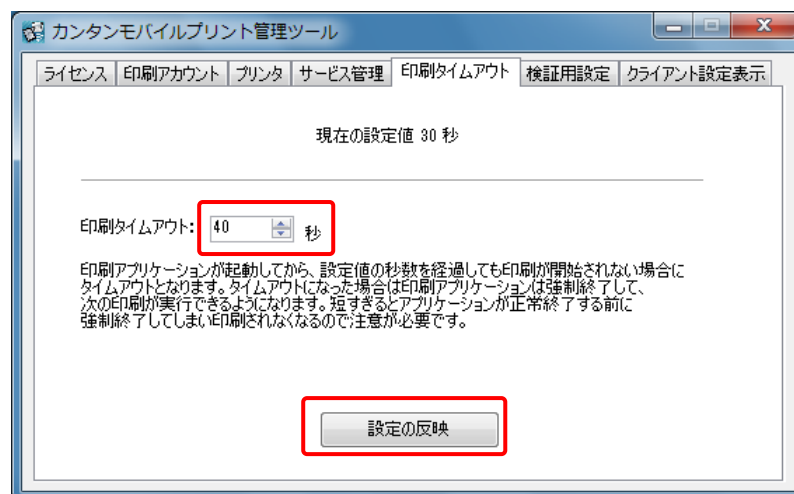
4.5.1 印刷タイムアウト

PC の処理速度が遅い場合や負荷がかかって処理が重い場合には、本エージェントソフトウェアが印刷アプリケーションを起動してから印刷が開始するまでに時間がかかりすぎてエラーとして処理される場合があります。

この時 iOS 用アプリケーション側では、印刷ジョブの状態が「印刷エラー」になり、エラーの詳細には「印刷用アプリケーション開始後にタイムアウトしました。(8020)」のエラーメッセージが

表示されます。

このエラーが頻発する場合は[印刷タイムアウト]の設定値を増やしてください。



タイムアウトの設定値を入力して、[設定の反映]ボタンを押してください。

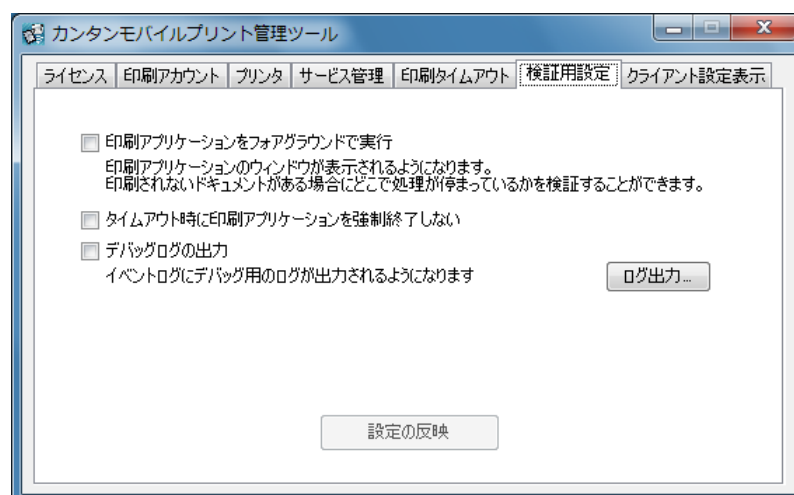
※ タイムアウトの設定値の初期値は 30 秒です。

4.5.2 検証用設定

[検証用設定]タブを選択すると、印刷に失敗するなどのトラブルが発生した場合に原因を調査するために使用する動作検証用の設定画面が表示されます。

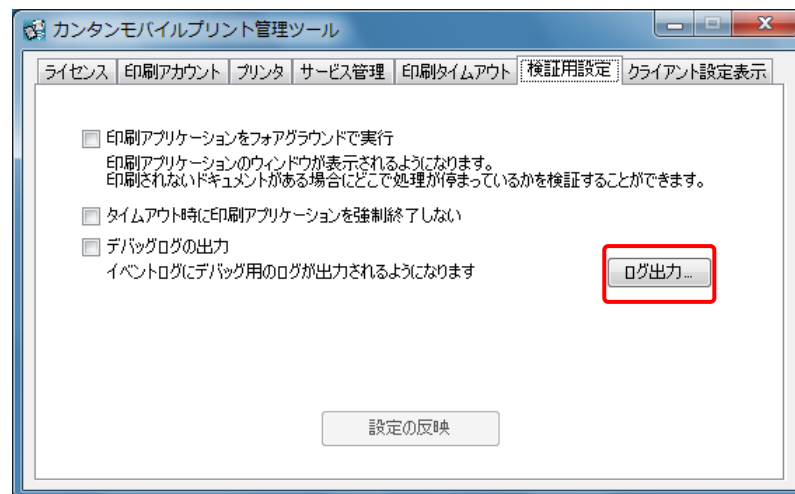
この設定画面の設定は、原則としてサポートエンジニアからの指示があった場合にのみ操作してください。

※ 検証用設定のチェックボックスのいずれかを有効にした状態での動作は保証しません。検証用設定はトラブルシュートの目的のみに使用してください。

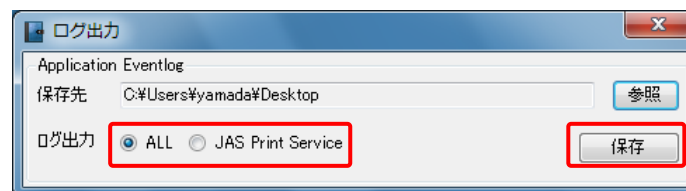


4.5.3 ログの取得

サポートの際にトラブルの原因を調査するためにログの取得をお願いする場合があります。その場合は、以下の手順でログを取得して、取得したログ(テキストファイル)を電子メール等で弊社サポート宛てに送信してください。



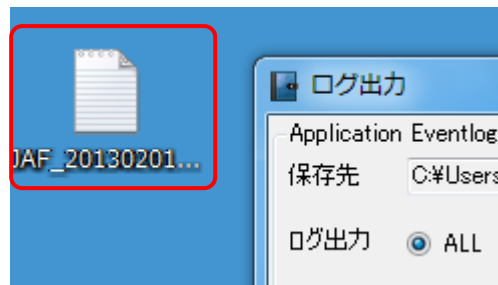
[ログ出力]ボタンを押してログ出力画面を開きます。



[保存]ボタンを押します。

※ 「ALL」を選択して保存すると本エージェントソフトウェア以外の OS や他のアプリケーションの出力するログが同時に取得されます。通常は「ALL」を選択した状態のまま保存してください。

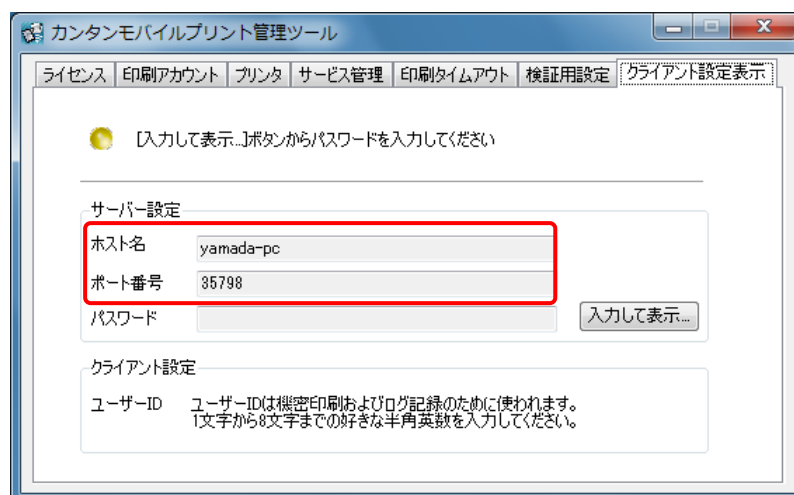




デスクトップ上にログ出力ファイルが保存されます。このファイルを電子メールに添付して送信してください。

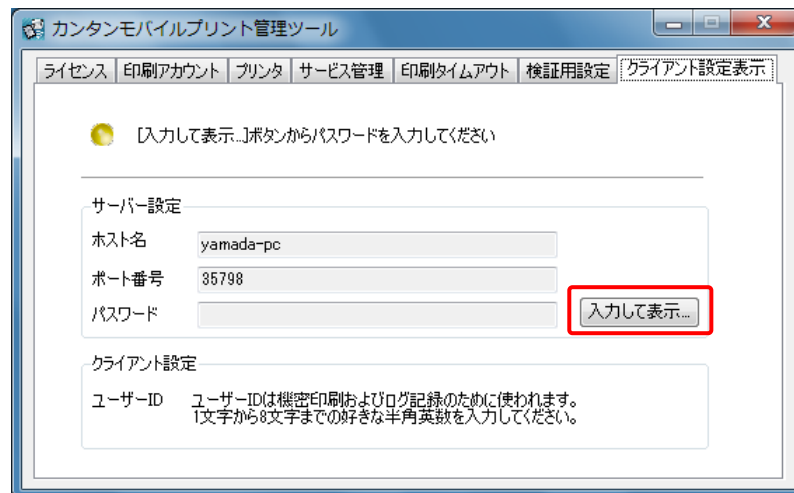
4.5.4 クライアント設定表示

管理ツールの[クライアント設定表示]タブを選択するとカンタンモバイルプリントで設定する際に必要となるホスト名、ポート番号を確認することが出来ます。

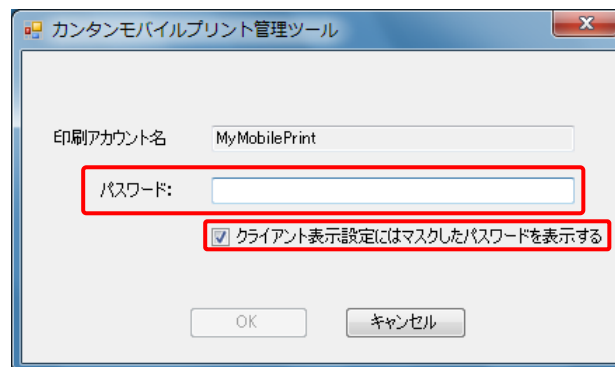


4.5.4.1 パスワードの確認と表示

パスワードの確認と表示する場合の手順を説明します。

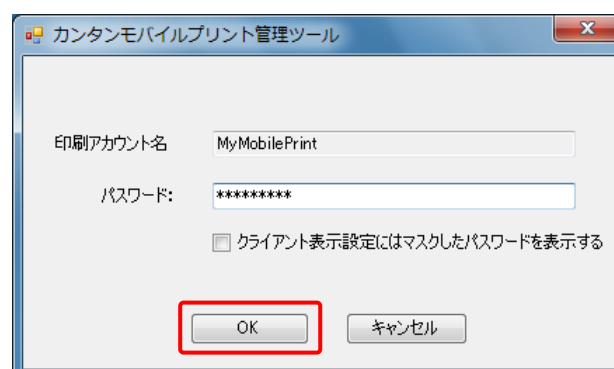


[入力して表示...]ボタンを押して、以下の画面を開きます。

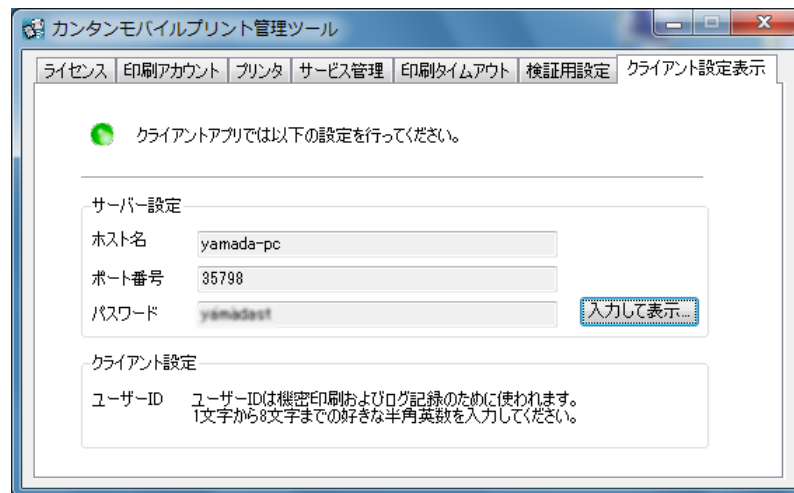


「4.2.1印刷アカウントの確認と変更」に設定されている印刷アカウント名のパスワードを入力し、[クライアント表示設定にはマスクしたパスワードを表示する]のチェックボックスを外します。

※ パスワード確認のみを行いたい場合は「クライアント表示設定にはマスクしたパスワードを表示する」のチェックボックスにチェックを入れた状態にしてください。パスワードが表示する際に*でマスクした状態で表示されるようになります。



[OK]ボタンを押すとパスワードの確認が行われ、認証をパスした場合はパスワードが表示されます。



4.6 通信

同時接続クライアント数	10 クライアントまでを推奨
通信タイムアウト	60 秒(管理ツールで変更可能)

※ クライアントのタイムアウトは 7～30 秒です(処理によって異なります)。7 秒以上の遅延が発生しない環境で使用してください。

4.7 印刷ジョブ

待機件数	200 件まで
印刷タイムアウト	30 秒 (管理ツールで変更可能)
ファイル名長さ	32bit 環境 165 文字, 64bit 環境 159 文字 (デフォルトのインストール先の場合。上限はインストール先のパスの長さに依存)
ファイルサイズ	制限なし(10MB 以下を推奨)

※ 印刷待ちのジョブが 200 件あると、新しい印刷要求にはエラーを返します。

※ ファイル名は長さの上限を超えてもエラーにはならず、ファイル名を切り詰めて処理します。

4.8 試用版

本エージェントソフトウェアは、管理ツールからプロダクトキーを登録せずに使用すると試用版として動作します。試用版の仕様は以下の通りです。

期限	インストールから 30 日
印刷可能なファイル形式	PDF(pdf), Word(doc/docx), テキスト(txt), JPEG(jpeg/jpg)

(括弧内は拡張子)	
-----------	--

- ※ 本エージェントソフトウェアをインストール後、時計を一定時間以上戻すと試用期限切れになる場合があります。試用版として使用する場合は、あらかじめ時計を正確に合わせてからインストールしてください。

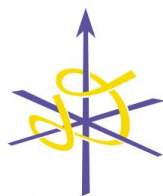
5. 困ったときには

本書およびユーザーガイドを参照しても解決できない問題がありましたら、弊社のサポートサイトからお問い合わせください。サポートサイトにてユーザー登録をしていただくことでお問い合わせが可能となります。

サポートサイト： http://www.4dn.co.jp/mfp-solution/mobile_print/

6. 制限事項

- 検証用設定のチェックボックスのいずれかを有効にした状態での動作は保証しません。検証用設定はトラブルシュートの目的のみに使用してください。
- Office 文書の印刷では、64bit 版 Office での動作は保証しません。
- 管理ツールで使用するプリンターとして選択されているプリンターを Windows から削除しても管理ツールで[プリンタ]タブを選択するまで、アプリに表示されるプリンター一覧からは消えません。先に管理ツールで使用するプリンターから削除することを推奨します。
- 共有プリンターおよび SMB プリンター(\\server\printer 形式のポートを使用するローカルプリンターおよび LAN Manager プリンター)は使用できません。
これらのプリンターはプリンター一覧にも表示しません。ネットワークプリンターを使用する際は「標準の TCP/IP ポート」を使用したプリンターを設定してください。
- ファイル形式によって印刷設定が反映されない場合があります。『ユーザーガイド』の「10.印刷結果と文書形式」を参照してください。
- Excel 文書の印刷では一つのシートのみ印刷される場合があります。複数のシートがある場合は保存時に選択中だったシートが印刷されます。複数のシートを選択状態にして保存した場合は全てのシートが印刷されます。
- PowerPoint 2010 で印刷できない場合があります。PowerPoint 2010 での印刷を推奨しません。印刷エラーとなった場合は、再度印刷すると印刷が成功することがあります。
- ActiveDirectory 環境で利用できない場合があります。ActiveDirectory 環境では通常ローカルログオンが許可されないためインストーラーが作成する印刷用ユーザーアカウントでログオンできない場合があります。この場合印刷用ユーザーでログインして行う事前の設定ができず、クライアントとの通信でも認証エラーが発生します。以下の回避策を検討してください。
 - ドメインユーザーアカウントを作成して「カンタンモバイルプリント管理ツール」で印刷アカウントとして設定してください。
 - Windows の「既定のドメイン コントローラ セキュリティの設定」の「ローカル ログオンを許可する」にユーザーを加える等の方法があります。詳しくは以下のサイトを確認してください。
<http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc737561%28WS.10%29.aspx>
- ActiveDirectory 環境でドメインユーザーアカウントを印刷アカウントに設定した場合、ローカルアカウントと比べ認証処理に時間が掛かるため、動作に時間が掛かる場合があります。
- Windows Server 2008 R2 / Windows 8 上では、PC 起動後 2 分間初期化処理を待機するため、印刷ジョブの生成や印刷の処理が行えない場合があります。任意のユーザーでデスクトップにログインすると、2 分間待たずに印刷ジョブの生成や印刷の処理が可能な状態となります。



4D Networks

フォーディーネットワークス株式会社

〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前 9F

URL:<http://www.4dn.co.jp/>